

## 書評 202007



### 四季の創造～日本文化と自然観の系譜～(角川選書 638)

ハルオ・シラネ 著

KADOKAWA

日本では、なぜ調和的な自然観が人びとの感性に根付いたのか。貴族たちは、いかにして絵や調度、衣装のなかに再現された「二次的自然」を愛でたのか。都市と里山の関係において育まれてきた自然観の系譜を描き出す。

2020:5./ 277p

978-4-04-703677-2

本体 ¥2,000+税



産経新聞 2020/07/04



### 絶対猫から動かない

新井 素子 著

KADOKAWA

介護離職して老後が絶賛不安なあたしは、地下鉄の中で人類を捕食する未知のいきものと遭遇し…。大人の冒険ファンタジー。『文芸カドカワ』『カドブンノベル』連載を加筆し単行本化。

2020:3./ 646p

978-4-04-108823-4

本体 ¥2,200+税



産経新聞 2020/07/05



### 囚われの山

伊東 潤 著

中央公論新社

199 人の犠牲者を出した八甲田雪中行軍遭難事件。120 年前の痛ましき大事件に、歴史雑誌編集者の男が疑問を抱く。すべての鍵を握るのは、白い闇に消えたひとりの兵士。男は取り憑かれたように八甲田へ…。長篇ミステリー。

2020:6./ 412p

978-4-12-005314-6

本体 ¥1,800+税



産経新聞 2020/07/05



### また、本音を申せば

小林 信彦 著

文藝春秋

「この世界の片隅に」をみながら疎開体験を苦く思い起こし、終戦の日々を書き残す。大病から生還し、太宰や安吾を読み返し、書店へ行って最新ミステリを選ぶ楽しみ。『週刊文春』連載コラムを書籍化。

2020:4./ 293p

978-4-16-391198-4

本体 ¥2,200+税



産経新聞 2020/07/05



### きたきた捕物帖

宮部 みゆき 著

PHP研究所

江戸は深川、親分の跡を継いで岡っ引きたらしとする北一が、相棒・喜多次やおかみさんの力を借りて成長し、事件を解決していく謎解き×怪異×人情の捕物帖シリーズ、第1弾。月刊文庫『文蔵』連載を加筆・修正し単行本化。

2020:6./ 363p

978-4-569-84694-1

本体 ¥1,600+税



産経新聞 2020/07/05

- ご注文の際には、タイトル・出版社名・価格のほか、資料 No.、ISBN も併せてお知らせください。
- 原価の改定、為替相場の変動などの理由により価格を変更する場合がございます。予めご了承の程お願い申し上げます。
- ご注文、ご照会には弊社本・支店・営業部(課)までお申し付けください。
- 表示価格は2020年7月時点での税抜価格です。



**熊野から読み解く記紀神話～日本書紀一三〇〇年紀～(扶桑社新書 332)**

池田 雅之／三石 学 編

扶桑社

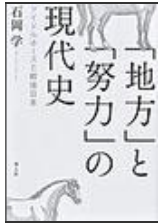
熊野三山の御神体は、巨木であり、巨岩であり、滝である。自然を崇拝する原始宗教の色濃い熊野は、神話において出雲との共通項が多く、どちらも死を連想させる。死と再生の地である「根の国」熊野の真の姿に 5 人の筆者が迫る。

産経新聞 2020/07/05

2020.5./ 271p

978-4-594-08370-0

本体 ¥950+税



**「地方」と「努力」の現代史～アイドルホースと戦後日本～**

石岡 学 著

青土社

「努力」と「立身出世」の神話は、どのように構築され、作用してきたのか？ 戦後、アイドルに祭り上げられた 3 頭のユニークな競走馬をめぐる言説の変容を追い、日本社会に潜む「集合意識」の謎に迫る。

産経新聞 2020/07/05

2020.6./ 307p

978-4-7917-7289-6

本体 ¥2,400+税



**世界を歩く、手工芸の旅**

青幻舎編集部 編

青幻舎編集部 著

青幻舎

チン族の刺繍と伝統布、インドのブロックプリント、リトアニアのリネン、ナイジェリアの藍染布…。文化や暮らし、出会いに魅了され、各地に残る手工芸を求めて世界へ繰り出す 18 人の女性たちの小さなエピソードを紹介する。

産経新聞 2020/07/05

2020.6./ 167p

978-4-86152-783-8

本体 ¥2,300+税



**心を病んだらいけないの？～うつ病社会の処方箋～(新潮選書)**

斎藤 環、與那覇 潤 著

新潮社

友達っていないといけないの？ 家族ってそんなに大事なの？ 夢をあきらめたら負け組なの？ 「ひきこもり」を専門とする精神科医と、重度の「うつ」をくぐり抜けた歴史学者が語り合い、「生きづらさ」を解きほぐす。

産経新聞 2020/07/05、東京・中日新聞 2020/07/19

2020.5./ 297p

978-4-10-603855-6

本体 ¥1,450+税



**サロメ(文春文庫 は 40-4)**

原田 マハ 著

文藝春秋

19 世紀末のロンドン。美貌とスキャンダルで時代の寵児となった作家オスカー・ワイルドと、イギリス画壇に彗星のごとく現れた夭折の天才画家ビアズリーの愛憎を描く。美術史の驚くべき謎に迫る長編ミステリー。

産経新聞 2020/07/11

2020.5./ 330p

978-4-16-791486-8

本体 ¥680+税



**猫のいる家に帰りたい**

仁尾智／小泉さよ 著

辰巳出版

猫がくるほめてほめてという顔で何か不穏なものをくわえて 猫歌人・仁尾智の短歌&エッセイ集。『猫びより』『ネコまる』連載に加筆修正し、小泉さよの描き下ろしイラストを加える。

産経新聞 2020/07/11

2020.6./ 111p

978-4-7778-2531-8

本体 ¥1,300+税





### アコーディオン弾きの息子 (CREST BOOKS)

ベルナルド・アチャガ 著

新潮社

懐かしく長閑な子ども時代、やがて訪れた政治と暴力の日々。歴史のうねりに飲み込まれ、故郷を失い記憶を封じた男は…。現代バスク語文学の「黄金時代」を明示する長篇小説。

2020:5./ 573p

978-4-10-590166-0

本体 ¥3,000+税



産経新聞 2020/07/12



### 夏の迷い子

泉 麻人 著

中央公論新社

ホロ苦い思い出、熱中したあのこと、バカ騒ぎの日々、苦楽味わった仕事、そして定年-。60 年生きた男達の、今日まで、そして明日からを描いた短編集。『アンデル 小さな文芸誌』ほか掲載に書き下ろしを加えて書籍化。

2020:6./ 189p

978-4-12-005316-0

本体 ¥1,600+税



産経新聞 2020/07/12



### 少年と犬

馳 星周 著

文藝春秋

家族のために犯罪に手を染めた男が拾った犬。守り神になったその犬はある意志を秘めていた-。人生の無常と犬の神秘性を描いた全 6 編を収録。『オール讀物』掲載を単行本化。

2020:5./ 308p

978-4-16-391204-2

本体 ¥1,600+税



産経新聞 2020/07/12



### わたしが知らないスゴ本は、きっとあなたが読んでい

Dain 著

技術評論社

本を探す人を探せ、本屋は出会い系、図書館は見合い系…。人生は短く、読む本は多い。運命の一冊をモノにする方法とは? かつてない本の味わい方を名著の数々とともに伝える。禁断の劇薬小説+トラウママンガのリスト付き。

2020:4./ 389p

978-4-297-11153-3

本体 ¥2,200+税



産経新聞 2020/07/12



### せきれいの詩

村木 嵐 著

幻冬舎

開国に揺れる幕末の江戸。成瀬家の姫・滯は、徳川慶勝に忠実に仕える幼馴染みの陸ノ介のもとに押しかけ、妻になった。現代の時代の礎となる激動の時代、翻弄されながらも愛と信義を貫く夫婦の姿を繊細に活写した時代小説。

2020:6./ 278p

978-4-344-03634-5

本体 ¥1,600+税



産経新聞 2020/07/12



### 消された唱歌の謎を解く

喜多 由浩 著

産経新聞出版

教科書から排除、切り刻まれた歌詞には、先人が大切にしていた価値観や美徳がある。戦争に翻弄された歌、生き残った名曲の秘密、闇に葬られた満洲・朝鮮の歌など、消された唱歌の謎を読み解く。『産経新聞』連載を再構成し書籍化。

2020:6./ 250p

978-4-8191-1386-1

本体 ¥1,400+税



産経新聞 2020/07/12



### オペラがわかる 101 の質問

ザビーネ・ヘンツェ?デーリング/ジークハルト・デーリング 著

アルテスパブリッシング

オペラはどこで、どうしてできたの? オペラは社会に役立つの? なぜ神話を題材にした作品が多いの? オペラの歴史と最新事情から、政治との関係、劇場経営の裏側まで、101 の Q&A 形式で解説する。

産経新聞 2020/07/12

2020:5./ 346p

978-4-86559-225-2

本体 ¥2,400+税



### 世界魔法道具の大図鑑

ピエルドメニコ・バックラリオ/ヤコポ・オリヴィエーリ 著

西村書店

白雪姫のリンゴ、孫悟空の如意棒、ホグワーツ魔法魔術学校の組分け帽子、雷神コールのミョルニル…。古今東西の物語に出てくる、美しく楽しい魔法道具をオールカラーイラストで一挙公開する。

産経新聞 2020/07/12、読売新聞 2020/07/26

2020:3./ 1 冊(ページ付なし)

978-4-86706-008-7

本体 ¥2,800+税



### 戦国大名の経済学(講談社現代新書 2575)

川戸 貴史 著

講談社

兵士の装備一式 70 万円、鉄炮 1 挺 50 万?60 万円、1 回の合戦の費用、締めて 1 億円! 戦争の収支、戦国大名の収入、鉱山開発や城下町、税制改革など、経済という視点から戦国時代の日本を読み解く。

産経新聞 2020/07/18

2020:6./ 286p

978-4-06-520015-5

本体 ¥1,000+税



### 文豪春秋

ドリヤス工場 著

文藝春秋

太宰治、中原中也、川端康成、夏目漱石、石川啄木、江戸川乱歩、芥川龍之介…。教科書には載らない文豪たちの人間臭い素顔を、文藝春秋社内の菊池寛像が語るコミック。『文学界』連載を単行本化。

産経新聞 2020/07/18

2020:6./ 189p

978-4-16-391214-1

本体 ¥850+税



### 金閣を焼かなければならぬ～林養賢と三島由紀夫～

内海 健 著

河出書房新社

今から 70 年前、「美への嫉妬」とつぶやいた青年僧が、金閣に火を放った。彼に何があったのか。三島由紀夫は、期せずして、その真理を作品の中に描き出した…。狂気に秘められた真相を追究・分析するノンフィクション。

産経新聞 2020/07/18、毎日新聞 2020/07/25

2020:6./ 223p

978-4-309-25413-5

本体 ¥2,400+税



### 天皇論～江藤淳と三島由紀夫～

富岡 幸一郎 著

文藝春秋

江藤淳と三島由紀夫というふたりの文学者の交点にこそ、今日論すべき天皇論の核心がある。昭和天皇崩御直後に行った江藤淳と著者との長時間対論と、没後 50 年を迎える三島由紀夫の天皇観とを対峙させた画期的論考。

産経新聞 2020/07/19

2020:5./ 254p

978-4-16-391209-7

本体 ¥2,200+税







### 法の雨

下村敦史 著  
徳間書店

結審直後に法廷で倒れた判事・嘉瀬清一が宣告したのは、逆転無罪。担当検事の大神護は打ちひしがれる。その判決が、裁判官、検察官、弁護士、被害者、加害者それぞれの正義を狂わせ…。『読楽』連載を加筆修正し単行本化。

2020:4./ 287p

978-4-19-865075-9

本体 ¥1,600+税



産経新聞 2020/07/19



### ワイルドサイドをほつき歩け～ハマータウンのおっさんたち～

ブレイディ みかこ 著  
筑摩書房

恋と離婚、失業と抵抗。絶望している暇はない。英国ブライトン在住の著者が、EU離脱、競争激化社会などの大問題に立ち上がる中高年について綴る。PR誌『ちくま』掲載に、現代英国の世代、階級、酒事情の解説を加える。

2020:6./ 251p

978-4-480-81550-7

本体 ¥1,350+税



産経新聞 2020/07/19



### 跳べ、暁!

藤岡 陽子 著  
ポプラ社

バスケットに情熱を燃やす 14歳の春野暁は、転校先の平川中で欣子やブミリアたちと女子バスケット部を立ち上げる。だが、暁以外は初心者で、練習場所にも事欠く始末。さらにそれぞれの家庭の事情にも思い悩む日々で…。

2020:7./ 375p

978-4-591-16709-0

本体 ¥1,600+税



産経新聞 2020/07/19



### サムライ留学生の恋

熊田 忠雄 著  
集英社インターナショナル

ドイツ、イギリス、アメリカ。留学した異国の地で恋に落ちた明治時代の日本男児たちは、異文化の壁をどう乗り越えたのか? 青木周蔵、川田龍吉、新渡戸稲造など 9 名を取り上げ、彼らの恋愛とその結末を紹介する。

2020:7./ 236p

978-4-7976-7386-9

本体 ¥1,700+税



産経新聞 2020/07/19



### よい子れんしゅう帳

おかべりか 著  
福音館書店

あいさつって、どんなふうにするの? 遅刻や忘れ物をしないようにするには、どうすればいい? よい子になるためのヒントが満載。月刊『おおきなポケット』掲載を加筆修正。切り取れる「よい子れんしゅう帳」付き。

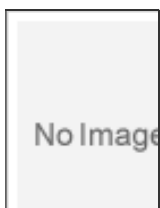
2020:6./ 29p

978-4-8340-8559-4

本体 ¥1,300+税



産経新聞 2020/07/19



### スーパージティ 社会課題を克服する未来のまちづくり

片山さつき 著  
先端教育機構

産経新聞 2020/07/19

2020:8./ 150p

978-4-910255-04-0

本体 ¥1,200+税





**みんなみんな逝ってしまった、けれど文学は死なない。**

坪内祐三 著  
幻戯書房

「今を生きる文学者の使命」とは何か。「文壇おくりびと」を自任し、つねに「文学のリアル」を追い求めた評論家・坪内祐三。彼が書き継いできた、追悼と論考、文芸誌を中心とした雑誌ジャーナリズムへのオマージュ。

2020:6./ 430p  
978-4-86488-200-2  
本体 ¥2,800+税



産経新聞 2020/07/19、読売新聞 2020/07/19



**奈落で踊れ**

月村了衛 著  
朝日新聞出版

ノーパンすき焼きスキキャンダルが発覚し、大蔵省に危機が訪れる。大物主計局長、暴力団幹部、総会屋総帥、政治家らの思惑が入り乱れるなか、霞が関のダークヒーロー・香良洲圭一が現れ…。『週刊朝日』連載を加筆し単行本化。

2020:6./ 377p  
978-4-02-251689-3  
本体 ¥1,900+税



産経新聞 2020/07/25



**自分にかきたい言葉〜ありがとう〜**

チョン スンファン 著  
講談社

そう なんだかそんな日が いつも今日だったらいいね どんな日でも その終わりは君も僕も楽しくなれる 一日の終わりをそんなふうに 幸せに締めくくりたい(「今日という贈り物」より) 韓国で話題の詩&エッセイ集。

2020:4./ 159p  
978-4-06-519247-4  
本体 ¥1,200+税



産経新聞 2020/07/25



**憂き夜に花を**

吉川 永青 著  
中央公論新社

時は享保。長引く飢饉に沈む江戸の町は、餓死者まで出ていた。そんな世の中に立ち向かった、花火師・六代目鍵屋弥兵衛。暗く沈む世に灯りを! 江戸っ子たちの熱い思いが生んだのは…。隅田川花火大会誕生の瞬間を描く。

2020:6./ 259p  
978-4-12-005311-5  
本体 ¥1,600+税



産経新聞 2020/07/26



**あがない**

倉数 茂 著  
河出書房新社

解体作業員の祐。ある青年との出会いが、抗不安薬依存に陥った過去を引き連れ、彼の平穏を脅かし…。表題作のほか、「不実な水」を収録する。『文藝』掲載を単行本化。

2020:6./ 211p  
978-4-309-02893-4  
本体 ¥1,900+税



産経新聞 2020/07/26



**彼らを書く**

片岡 義男 著  
光文社

ザ・ビートルズ、ボブ・ディラン、エルヴィス・プレスリー。DVD31 作品のなかに、いまも「彼ら」はいる…。彼らの音楽映画にまつわるエッセイ 31 篇と、貴重写真 87 枚が絡み合うオール・カラーBOOK。

2020:4./ 254p  
978-4-334-95164-1  
本体 ¥2,000+税



産経新聞 2020/07/26



### 死という最後の未来

石原 慎太郎／曾野 綾子 著  
幻冬舎

死に向き合うことで見える、人が生きる意味とは-。キリストの信仰を生きる曾野綾子と、法華経を哲学とする石原慎太郎。対極の死生観を持つふたりが、「死」について赤裸々に語る。

2020:6./ 246p  
978-4-344-03613-0  
本体 ¥1,500+税  
\* 9 7 8 4 3 4 4 0 3 6 1 3 0 \*

産経新聞 2020/07/26



### 現代アートをたのしむ～人生を豊かに変える5つの扉～(祥伝社新書 599)

原田 マハ／高橋 瑞木 著  
祥伝社

東京・森美術館設立準備室で、ともに日々を過ごした旧知のふたりが、あなたと現代アートとの「距離を縮める」ために、アーティストや各地の美術館、展覧会を案内する。わからないが面白いに変わる、現代アートのガイドンス。

2020:5./ 284p  
978-4-396-11599-9  
本体 ¥1,200+税  
\* 9 7 8 4 3 9 6 1 1 5 9 9 9 \*

産経新聞 2020/07/26



### 縁結びカツサンド

冬森 灯 著  
ポプラ社

駒込うらら商店街に佇む、昔ながらのパン屋さん「ベーカリー・コテン」。人の悩みに寄り添うパンを焼こうと奮闘する三代目・和久が、見つけた答えとは-。とびきりあったかな“縁”の物語。第1回おいしい文学賞最終候補作。

2020:7./ 297p  
978-4-591-16718-2  
本体 ¥1,600+税  
\* 9 7 8 4 5 9 1 1 6 7 1 8 2 \*

産経新聞 2020/07/26



### はじめての渋沢栄一～探究の道しるべ～

渋沢研究会 編  
ミネルヴァ書房

実業界のみならず、福祉や教育分野においても指導的役割を果たしたことで知られる渋沢栄一。一般読者をはじめ、大学生、外国人学生、小・中学校の教員に向けて、渋沢栄一の多様な足跡をわかりやすく解説する。

2020:5./ 8p,319p,7p  
978-4-623-08841-6  
本体 ¥2,800+税  
\* 9 7 8 4 6 2 3 0 8 8 4 1 6 \*

産経新聞 2020/07/26



### 好日絵巻～季節のめぐり、茶室のいろどり～

森下 典子 著  
PARCO出版

茶室の中の季節の花、道具、お菓子…。著者自身が描いた 73 のイラストと、心に沁みる言葉の数々。季節のめぐりの「絵巻物」のような一冊。「日日是好日」「好日日記」に続く茶道エッセイ第3弾。

2020:6./ 125p  
978-4-86506-337-0  
本体 ¥1,500+税  
\* 9 7 8 4 8 6 5 0 6 3 3 7 0 \*

産経新聞 2020/07/26



### 社会とことば(井上ひさし発掘エッセイ・セレクション)

井上 ひさし 著  
岩波書店

新聞・雑誌等で好評を得ながら、まだ著書に収められていないエッセイをテーマ別の3冊に編む。「社会とことば」には、吉里吉里人、コメ、憲法、原発など社会的なテーマと、生涯こだわり続けた言葉をめぐるエッセイを収録。

2020:4./ 9p,186p  
978-4-00-028148-5  
本体 ¥2,000+税  
\* 9 7 8 4 0 0 0 2 8 1 4 8 5 \*

朝日新聞 2020/07/04



### 芝居とその周辺(井上ひさし発掘エッセイ・セレクション)

井上 ひさし 著

岩波書店

新聞・雑誌等で好評を得ながら、まだ著書に収められていないエッセイをテーマ別の3冊に編む。「芝居とその周辺」には、“芝居”をテーマに、同時代を生きた演劇人との交友や、自作をめぐるエッセイを収録。

2020:5./ 9p,191p

978-4-00-028149-2

本体 ¥2,000+税



朝日新聞 2020/07/04



### 小説をめぐって(井上ひさし発掘エッセイ・セレクション)

井上 ひさし 著

岩波書店

新聞・雑誌等で好評を得ながら、著書未収録のエッセイを精選。創作の原点である山形小松・仙台のこと、書評・文庫解説、同時代の作家との交友、自作に関する「作者のことば」などを収録する。

2020:7./ 11p,186p

978-4-00-028150-8

本体 ¥2,000+税



朝日新聞 2020/07/04



### 「勤労青年」の教養文化史(岩波新書 新赤版 1832)

福岡 良明 著

岩波書店

勤労青年たちが抱いていた「読書や勉学を通じて真実を模索し、人格を磨かなければならない」という価値観は、なぜ広く共有されえたのか。いつ、なぜ消失したのか。地域差やメディアも視野に入れ、複雑な力学を解明する。

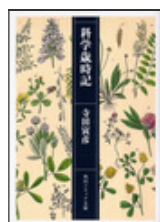
2020:4./ 3p,296p

978-4-00-431832-3

本体 ¥900+税



朝日新聞 2020/07/04



### 科学歳時記(角川ソフィア文庫 L117-3)

寺田 寅彦 著

KADOKAWA

初期から晩年まで、季節を主題にした寺田寅彦の随筆作品を歳時記風に掲載。生きる世界を俳諧に見出し、科学と融合させた独自の短文集。「団栗」「竜舌蘭」「祭」「車」「窮理日記」等、全39篇を収録。

2020:5./ 379p

978-4-04-400586-3

本体 ¥840+税



朝日新聞 2020/07/04



### ボクはやっと認知症のことがわかった～自らも認知症になった専門医が、日本人に伝えたい遺言～

長谷川 和夫／猪熊 律子 著

KADOKAWA

これまで何千人もの患者を診てきた認知症の専門医は、認知症になって何を思い、どう感じているのか。自身の半生や生き方、日本の認知症の歴史に触れながら、日本人に伝えたい「遺言」を語る。『読売新聞』連載を加筆し書籍化。

2019:12./ 222p

978-4-04-604499-0

本体 ¥1,300+税



朝日新聞 2020/07/04



### 理系の文章術～今日から役立つ科学ライティング入門～(ブルーバックス B-2138)

更科 功 著

講談社

レポート、論文、報告書など、理系であっても文章を書く機会が多い。論理的で読みやすく、相手に伝わる文章の書き方とは? ベストセラー科学書の著者が、豊富な実例を題材に、一生使える文章術を指南する。

2020:5./ 248p

978-4-06-519562-8

本体 ¥1,000+税



朝日新聞 2020/07/04





**ことばの危機～大学入試改革・教育政策を問う～(集英社新書 1024)**

東京大学文学部広報委員会 編

阿部 公彦／沼野 充義／納富 信留／大西 克也／安藤 宏 著

集英社

「実用性」ばかりを強調し、文学を特殊な領域に囲い込もうとする大学入試改革・教育政策は、いかなる点で問題なのか。日本社会全体に蔓延した「ことば」に対する偏った見方とは何か。東京大学文学部の教授陣による講演録。

2020:6./ 238p

978-4-08-721124-5

本体 ¥840+税



朝日新聞 2020/07/04



**逆ソクラテス**

伊坂 幸太郎 著

集英社

敵は、先入観。世界をひっくり返せ! デビュー20年目の著者が描く少年たちの物語。『オール讀物』掲載の「スロウではない」など、書き下ろし3編を含む短編全5編を収録。

2020:4./ 276p

978-4-08-771704-4

本体 ¥1,400+税



朝日新聞 2020/07/04



**謎のアジア納豆～そして帰ってきた<日本納豆>～(新潮文庫 た-131-1)**

高野 秀行 著

新潮社

辺境作家が目指した未知の大陸、それは納豆だった。山奥のジャングルで出会った納豆ご飯、ぱりぱりと割れるせんべい納豆、日本の究極の納豆…。知的好奇心あふれるノンフィクション。

2020:6./ 509p

978-4-10-102151-5

本体 ¥900+税



朝日新聞 2020/07/04



**東京トイボクシーズ<1>(パンチコミックス)**

うめ 著

新潮社

“eスポーツ”が注目され始めた現代。激動のeスポーツ業界を駆ける、青春群像劇が幕を開ける。あの名作『東京トイボックス』シリーズ、待望の最新作!

2020:6./ 192p

978-4-10-772286-7

本体 ¥620+税



朝日新聞 2020/07/04



**政治の本質(中公文庫 ウ9-1)**

マックス・ヴェーバー、カール・シュミット 著

中央公論新社

第一次大戦後からナチ台頭期にかけて、「政治の本質」に挑んだ M・ヴェーバーと、C・シュミット。2人の思想家の著作を鋭敏な時代感覚によっていち早く日本に紹介した歴史的な訳業。清水幾太郎の関連論考を付す。

2017:10./ 275p

978-4-12-206470-6

本体 ¥900+税



朝日新聞 2020/07/04



**ことばの波止場(中公文庫 わ25-2)**

和田 誠 著

中央公論新社

戦時中の替え歌や落語、和歌、しりとり、回文、アナグラム、マザーグースにクマのプーさん…。和田誠が長年にわたってこつこつ集めた<ことばのトリビア>を紹介します。ほのぼのする挿絵入り。

2020:5./ 149p

978-4-12-206887-2

本体 ¥660+税



朝日新聞 2020/07/04



## 女と文明(中公文庫 う15-15)

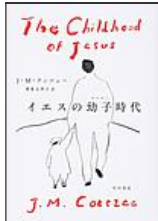
梅棹 忠夫 著  
中央公論新社

「男と女の、社会的な同質化現象はさげがたい」今や至極当然とも思えることを民族学者の立場から徹底的に論じた、半世紀前のラディカル女性論および家庭論。賛否両論の大反響を巻き起こした「妻無用論」等を含む慧眼の書。

2020:6./ 265p  
978-4-12-206895-7  
本体 ¥780+税



朝日新聞 2020/07/04



## イエスの幼子時代

J.M.クツェー、鴻巣 友季子 著  
早川書房

母と生き別れた少年の面倒を見ることになった初老の男。彼らが向かうのは過去を捨てた人々が暮らす街。男も新たな名前と経歴を得て、ひとりで気ままに生きるはずだったが…。人と人とのつながりをアイロニカルに問う長篇。

2016:6./ 374p  
978-4-15-209620-3  
本体 ¥2,300+税



朝日新聞 2020/07/04



## イエスの学校時代

J・M・クツェー 著  
早川書房

ノビージャの街を捨て、田舎町に逃れてきたダビード、シモン、イネスの家族。シモンとイネスは農園に住み込みの仕事を見つけ、6歳のダビードは、ダンススクールでバレエと数字を学ぶ!? 「イエスの幼子時代」続篇。

2020:4./ 319p  
978-4-15-209934-1  
本体 ¥2,300+税



朝日新聞 2020/07/04



## 地方議員は必要か～3万2千人の大アンケート～(文春新書 1267)

NHK スペシャル取材班 著  
文藝春秋

「やりがいは?」「選挙にはお金がかかる?」「生まれ変わっても議員になりたい?」全国1788 議会のすべての議員にアンケートした結果と追加取材をまとめる。NHK スペシャル「崖っぷち!? わが町の議会」を書籍化。

2020:6./ 238p  
978-4-16-661267-3  
本体 ¥820+税



朝日新聞 2020/07/04



## トalking・トゥ・ストレンジャーズ～「よく知らない人」について私たちが知っておくべきこと～

マルコム・グラッドウェル 著  
光文社

「目は口ほどに…」「話せばわかる」「見た目が 9 割」は危険! 多様な事例と鋭い洞察力によって、人間の性質に関する定説の誤りを暴き、「他者といかにつきあうか」という人間の根源的な営みに新しい光を当てる。

2020:6./ 451p  
978-4-334-96242-5  
本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2020/07/04



## 映画と演劇ポスターデザインワークの50年～知られざる仕事師の全仕事～

小笠原 正勝 著  
誠文堂新光社

ポスターとは、映画・演劇を1枚の紙に表現した、いわば「紙の劇場」。映画ポスターデザインの第一人者・小笠原正勝が手掛けたポスター約500点をジャンル、時代ごとに掲載し、映画ポスターにまつわるエピソードを収録する。

2020:4./ 319p  
978-4-416-52031-4  
本体 ¥4,000+税



朝日新聞 2020/07/04



## BILLIE EILISH～ビリー・アイリッシュのすべて～

Charles Conway 著

大和書房

いつも自信がなかった。うまく話せなかったし、他の子と同じようにできなかった。極貧、トゥレット症候群、メンヘラ、ボディコンプレックス。ダークで優しいビリー・アイリッシュのメッセージを、写真とともに収録する。

2020:6./ 189p

978-4-479-39349-8

本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2020/07/04



## フルキャリマネジメント～子育てしながら働く部下を持つマネジャーの心得～

武田 佳奈 著

東洋経済新報社

子育てにも仕事にも前向きな「フルキャリ」は何を望んでいるのか。現場のリーダーや人事担当者に向け、フルキャリのパフォーマンスとチームパフォーマンスを最大化するマネジメント手法について示唆する。

2019:7./ 207p

978-4-492-53414-4

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2020/07/04



## 萩原編集長危機一髪!～今だから話せる遭難未遂と教訓～(ヤマケイ新書 YS049)

萩原 浩司 著

山と溪谷社

『山と溪谷』『ROCK&SNOW』の編集長を歴任した著者が、50年の登山経験の中から「あれは本当にヤバかった」という山行をピックアップ。命を落としかけたシリアスな体験からささやかな失敗談までを、教訓と共に紹介。

2020:6./ 350p

978-4-635-51053-0

本体 ¥1,000+税



朝日新聞 2020/07/04



## 学校の社会学～フランスの教育制度と社会的不平等～

マリアンヌ・ブランシャール／ジョアニ・カユエット＝ランブリエール 著

明石書店

教育社会学研究の入門書。多民族・多文化が混在するフランスを題材に、学校教育の諸課題、とりわけ教育と不平等のダイナミクスを扱った研究の歴史的展開と現在を俯瞰する。教育と人間・社会・文化の関連についてまとめる。

2020:4./ 225p

978-4-7503-5014-1

本体 ¥2,300+税



朝日新聞 2020/07/04



## 仕事と家庭は両立できない?～「女性が輝く社会」のウソとホント～

アン＝マリー・スローター、関 美和 著

NTT出版

女性の社会進出先進国と言われるアメリカでも、仕事と家庭の両立を阻む高い壁が存在する。「なぜ女性はすべてを手に入れられないのか」の著者が、仕事と家庭のあいだで悩むすべての人に力強いメッセージを贈る。

2017:7./ 4p,333p

978-4-7571-2362-5

本体 ¥2,400+税



朝日新聞 2020/07/04



## スポーツツーリズム入門

ジェームス・ハイアム／トム・ヒンチ 著

晃洋書房

空間と時間におけるスポーツツーリズムの発展の顕在化を議論。競技者、観戦者、イベント主催者、開催地域などさまざまなアクターがかかわるスポーツツーリズムの特性を理解し、さらなる発展と成長につなげるための入門書。

2020:6./ 4p,215p

978-4-7710-3365-8

本体 ¥2,700+税



朝日新聞 2020/07/04



## 二枚腰のすすめ～鷺田清一の人生案内～(教養みらい選書 006)

鷺田 清一 著  
世界思想社

彼女ができず寂しい。暗い性格をどうにかしたい。ぐうたら夫に腹が立つ…。哲学者・鷺田清一がさまざまな悩みに答える『読売新聞』掲載の「人生案内」から 71 篇を厳選し、書き下ろしを加えて単行本化。

2020:6./ 3p,199p  
978-4-7907-1742-3  
本体 ¥1,700+税



朝日新聞 2020/07/04



## 海の極小いきもの図鑑～誰も知らない共生・寄生の不思議～

星野修 著  
築地書館

東京の海で見つけた、コケムシやゴカイ、カラフルなウミウシにホヤ、イノチヅナアミヤドリ、そして新種のヨコエビ類…。捕食、子育て、共生・寄生など、海中の小さないきものたちの驚くべき生態を紹介する。

2020:6./ 173p  
978-4-8067-1599-3  
本体 ¥2,000+税



朝日新聞 2020/07/04



## 今そこにある多言語なニッポン

柿原 武史／上村 圭介／長谷川 由起子 編  
くろしお出版

「日本＝日本人が日本語を話す国」じゃない!? イスラム横丁、LINE スタンプ、地方自治体のホームページから見る多言語対応…。多様なニッポンの現状を、言語と人々に焦点を当てて描き出す。

2020:6./ 165p  
978-4-87424-836-2  
本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2020/07/04



## アメリカン・セレブリティーズ

辰巳 JUNK 著  
スモール出版

20 組のセレブリティのスター街道にフォーカスしつつ、2010 年代のアメリカン・ポップカルチャーの流れや事象を追う。ハリウッドスター、ラッパー、ポップシンガー達から、政治、差別、宗教、ゴシップビジネスを読み解く。

2020:4./ 294p  
978-4-905158-75-2  
本体 ¥1,700+税



朝日新聞 2020/07/04



## スーベニア

しまおまほ 著  
文藝春秋

両親、友だち、恋人と呼べない関係だけど大好きな人、再会した元カレ…。30 代半ばの働く女性の人間関係と複雑な心模様を描いた、著者初の本格長編恋愛小説。『文学界』連載を加筆し書籍化。

2020:5./ 304p  
978-4-16-391211-0  
本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2020/07/04、読売新聞 2020/07/12



## ルポ技能実習生(ちくま新書 1496)

澤田 晃宏 著  
筑摩書房

技能実習生の最大の供給国となったベトナム。政府の後押しもあり、日本を目指す農村部の若者たち。彼らの夢は「300 万貯金すること」。日越の関係機関、実習生、支援団体取材。国際的な労働力移動の舞台裏を全部書く。

2020:5./ 270p  
978-4-480-07307-5  
本体 ¥860+税



朝日新聞 2020/07/04、読売新聞 2020/07/19





### オルガ(CREST BOOKS)

ベルンハルト・シュリンク 著

新潮社

北の果てに消えた恋人へ。小さな家庭の幸せを求めたオルガ、ドイツ国家拡大への夢に憑かれたヘルベルト。言えなかった思いが最果ての地に眠る手紙から溢れだす。20世紀を生きぬいた、あるポーランド系女性の波瀾の生涯。

朝日新聞 2020/07/04、日本経済新聞 2020/07/04

2020:4./ 229p

978-4-10-590165-3

本体 ¥2,000+税



### 首都改造〜東京の再開発と都市政治〜(歴史文化ライブラリー 500)

源川 真希 著

吉川弘文館

2つのオリンピックの間で東京はどう変わってきたか。都知事のキャラクター、経済と不動産、世界都市化、行政とディベロッパーとの連携から、東京の変貌を浮き彫りにする。

朝日新聞 2020/07/04、日本経済新聞 2020/07/04

2020:5./ 6p,216p

978-4-642-05900-8

本体 ¥1,700+税



### 絶望を希望に変える経済学〜社会の重大問題をどう解決するか〜

アビジット・V・バナジー／エステル・デュフロ 著

日本経済新聞出版社

貿易戦争、社会格差、移民、環境破壊…。現代の危機において、まともな「よい経済学」は何かできるのか? 2019年ノーベル経済学賞受賞者が、よりよい世界にするために、経済学にできることを真っ正面から問いかける。

朝日新聞 2020/07/04、日本経済新聞 2020/07/04、毎日新聞 2020/07/18

2020:5./ 523p

978-4-532-35853-2

本体 ¥2,400+税



### 三国志曼荼羅(岩波現代文庫)

井波 律子 著

岩波書店

朝日新聞 2020/07/11

2007:5./ 323p

978-4-00-602119-1

本体 ¥1,000+税



### 中国人の機智〜『世説新語』の世界〜(講談社学術文庫)

井波 律子 著

講談社

一筋縄ではいかぬ誇り高き人々の不退転の反俗・反逆の精神を切れ味鋭い機智に乗せて演じきった舞台。暗く陰悪な乱世を生き抜く魂は、悲哀、憂鬱を乗り越え、豪放洒脱な生き様は究極の言語表現を生み出した。

朝日新聞 2020/07/11

2009:12./ 253p

978-4-06-291975-3

本体 ¥880+税



### 三国志演義<1>(講談社学術文庫 2257)

講談社

魏・蜀・呉。戦乱の「三国時代」を描く、中国文学の最高傑作。史実と虚構を巧緻に交錯させ、驚異の物語世界を現出する。1は、「黄巾の乱」から「官渡の戦い」まで30回分を収録。

朝日新聞 2020/07/11

2014:9./ 700p

978-4-06-292257-9

本体 ¥1,830+税





**三国志演義<2>(講談社学術文庫 2258)**

講談社

魏・蜀・呉。戦乱の「三国時代」を描く、中国文学の最高傑作。史実と虚構を巧緻に交錯させ、驚異の物語世界を現出する。2 は、諸葛亮が登場し、物語は佳境へ。「長坂の戦い」「赤壁の戦い」など 30 回分を収録。

朝日新聞 2020/07/11

2014:10./ 666p

978-4-06-292258-6

本体 ¥1,800+税



**三国志演義<3>(講談社学術文庫 2259)**

講談社

魏・蜀・呉。戦乱の「三国時代」を描く、中国文学の最高傑作。史実と虚構を巧緻に交錯させ、驚異の物語世界を現出する。3 は、「関羽戦死」「張飛暗殺」「劉備率いる蜀の大敗」など 30 回分を収録。

朝日新聞 2020/07/11

2014:11./ 660p

978-4-06-292259-3

本体 ¥1,700+税



**三国志演義<4>(講談社学術文庫 2260)**

講談社

魏・蜀・呉。戦乱の「三国時代」を描く、中国文学の最高傑作。史実と虚構を巧緻に交錯させ、驚異の物語世界を現出する。4 は、諸葛亮の「出師の表」奏上、6 度にわたる魏攻略戦など 30 回分を収録。完結。

朝日新聞 2020/07/11

2014:12./ 668p

978-4-06-292260-9

本体 ¥1,800+税



**水を縫う**

寺地 はるな 著

集英社

男なのに刺?が好きな弟。女なのにかわいいものが苦手な姉。愛情豊かな親になれなかった母…。世の中の普通や当たり前を問い直す、6 人の家族の物語。『小説すばる』連載を書籍化。

朝日新聞 2020/07/11

2020:5./ 240p

978-4-08-771712-9

本体 ¥1,600+税



**ブルックリン・フォリーズ(新潮文庫 オ-9-16)**

ポール・オースター 著

新潮社

傷ついた犬のように、私は、生まれた場所へと戻ってきた…。静かに人生を振り返ろうと故郷ブルックリンに戻ってきたネイサンが巻き込まれる、思いがけない冒険。温かく、ウィットに富んだ、家族再生の物語。

朝日新聞 2020/07/11

2020:6./ 457p

978-4-10-245117-5

本体 ¥800+税



**道行きや~Hey,you bastards!I'm still here!~**

伊藤 比呂美 著

新潮社

父母を見送り、夫を看取り、娘と離れて日本へ。故郷熊本と学生の待つ早稲田を行ったりきたり…。人生いろいろ不可解不思議な日常を書き綴る。『波』『群像』掲載を加筆改稿し、書下ろしを加えて書籍化。

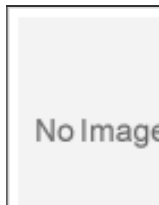
朝日新聞 2020/07/11

2020:4./ 221p

978-4-10-432403-3

本体 ¥1,800+税





### 中国のグロテスク・リアリズム(中公文庫)

井波 律子 著  
中央公論新社  
朝日新聞 2020/07/11

1999:12./ 318p  
978-4-12-203551-5  
本体 ¥781+税



### 短篇ベストコレクション〜現代の小説〜<2020>(徳間文庫 15-20)

日本文藝家協会 著  
徳間書店  
2019 年に発表された短篇小説のなかから、優秀作を選び抜いた珠玉のコレクション。人々の喜怒哀楽に寄り添う、阿川佐和子、井上荒野、奥田英朗、柿村将彦ら 15 人による短篇を収録。

2020:6./ 741p  
978-4-19-894566-4  
本体 ¥1,160+税

朝日新聞 2020/07/11



### まじないの文化史〜見るだけで楽しめる!〜(視点で変わるオモシロさ!)

河出書房新社  
呪い、祈り、結界、疫病除け…。古代から現代まで続く日本の呪術。身近にありながら、意外にそのルーツを知らない様々なまじないを、おふだとの関連から読み解く。新潟県立歴史博物館の 2016 年の企画展の図録を基に書籍化。

2020:5./ 119p  
978-4-309-22803-7  
本体 ¥1,650+税

朝日新聞 2020/07/11



### すみなれたからだで(河出文庫 く16-3)

窪 美澄 著  
河出書房新社  
無様に。だけど、私はまだ生きているのだ。焼夷弾が降る戦時下、喧騒に吞まれる 80 年代、そして黄昏ゆく、いま。手さぐりで生きる人々の人生に寄り添い描いた作品集。短篇「夜と粥」を増補した文庫版。

2020:7./ 263p  
978-4-309-41759-2  
本体 ¥680+税

朝日新聞 2020/07/11



### The Young Women's Handbook〜女の子、どう生きる?〜

山内 マリコ 著  
光文社  
雑誌や SNS の素敵なあの子にキリキリしちゃうあなたへ。雑誌『JJ』の巻頭を飾る特集コピーに対し思うことを綴ったエッセイ。迷ったり不安になったりしたとき、お守りのようになる言葉が満載。『JJ』連載を単行本化。

2020:5./ 142p  
978-4-334-95156-6  
本体 ¥1,400+税

朝日新聞 2020/07/11



### グルーヴ!〜「心地よい」演奏の秘密〜

山田 陽一 編  
堀米 ゆず子／鈴木 学／上野 真／池松 宏／岡田 全弘／池上 亘／吉田 将／矢部 達哉／下野 竜也／小曾根 真 著  
春秋社  
クラシック音楽に「グルーヴ」は存在するのか? 感動や快感を生み出す「心地よさ」の正体とは? 演奏の第一線で活躍する 10 人が、それぞれの言葉で自らの演奏や聴取体験の「グルーヴ/心地よさ」を語る。

2020:5./ 4p,398p  
978-4-393-93500-2  
本体 ¥2,700+税

朝日新聞 2020/07/11



**世説新語<1>(東洋文庫 843)**

平凡社

魏晉の貴族・名士たちの逸話集「世説新語」全 1120 条のエピソードについて、原文、訓読、注釈、口語訳、解説をほどこす。1 は、「徳行第一」「言語第二」「政事第三」を収録。

朝日新聞 2020/07/11

2013:11./ 360p

978-4-582-80843-8

本体 ¥2,900+税



**世説新語<2>(東洋文庫 845)**

平凡社

魏晉の貴族・名士たちの逸話集「世説新語」全 1120 条のエピソードについて、原文、訓読、注釈、口語訳、解説をほどこす。2 は、「文学第四」「方正第五」「雅量第六」「識鑒第七」を収録。

朝日新聞 2020/07/11

2014:1./ 446p

978-4-582-80845-2

本体 ¥3,100+税



**世説新語<3>(東洋文庫 847)**

平凡社

魏晉の貴族・名士たちの逸話集「世説新語」全 1120 条のエピソードについて、原文、訓読、注釈、口語訳、解説をほどこす。3 は、「賞誉第八」「品藻第九」「規箴第十」などを収録。

朝日新聞 2020/07/11

2014:3./ 414p

978-4-582-80847-6

本体 ¥3,100+税



**世説新語<4>(東洋文庫 849)**

平凡社

魏晉の貴族・名士たちの逸話集「世説新語」全 1120 条のエピソードについて、原文、訓読、注釈、口語訳、解説をほどこす。4 は、「容止第十四」「自新第十五」「企羨第十六」などを収録。

朝日新聞 2020/07/11

2014:5./ 453p

978-4-582-80849-0

本体 ¥3,100+税



**世説新語<5>(東洋文庫 851)**

平凡社

魏晉の貴族・名士たちの逸話集「世説新語」全 1120 条のエピソードについて、原文、訓読、注釈、口語訳、解説をほどこす。5 は、「輕詆第二十六」「仮譎第二十七」「黜免第二十八」などを収録。

朝日新聞 2020/07/11

2014:7./ 297p

978-4-582-80851-3

本体 ¥2,800+税



**わたしに無害なひと(となりの国のものがたり 05)**

チェ・ウニョン 著

亜紀書房

二度と会えなくなった友人、傷つき傷つけた恋人との別れ…。もし時間を戻せるなら、あの瞬間に。言葉にできなかった想いがさまざまあふれ出る短編集。第 8 回若い作家賞受賞作「あの夏」を含む全 7 編を収録。

朝日新聞 2020/07/11

2020:4./ 342p

978-4-7505-1641-7

本体 ¥1,600+税







### 美しい日本語 荷風<1> 季節をいとおしむ言葉

永井 荷風、持田 叙子、高柳 克弘 著

慶應義塾大学出版会

永井荷風の生誕 140 年、没後 60 年を記念して、荷風の美しい日本語を詩・散文、俳句から選りすぐり、堪能できるアンソロジー。1 は、「牡丹の客」「葡萄棚」「雪のやどり」など、季節をいとおしむ言葉を収録。

朝日新聞 2020/07/11

2019:8./ 222p

978-4-7664-2616-8

本体 ¥2,700+税



### 美しい日本語 荷風<2> 人生に口づけする言葉

永井 荷風、持田 叙子、高柳 克弘 著

慶應義塾大学出版会

永井荷風の生誕 140 年、没後 60 年を記念して、荷風の美しい日本語を詩・散文、俳句から選りすぐり、堪能できるアンソロジー。2 は、「砂糖」「燈火の巷」など、人生という時間を愛する術を教えてくれる言葉を収録。

朝日新聞 2020/07/11

2020:1./ 220p

978-4-7664-2617-5

本体 ¥2,700+税



### 美しい日本語 荷風<3> 心の自由をまもる言葉

永井 荷風／持田 叙子／高柳 克弘 著

慶應義塾大学出版会

永井荷風の生誕 140 年、没後 60 年を記念して、荷風の美しい日本語を詩・散文、俳句から選りすぐり、堪能できるアンソロジー。3 は、「批評家の任務」「勲章」など、ひたすら読む人と対話して書いた、自由な言葉を収録。

朝日新聞 2020/07/11

2020:6./ 217p

978-4-7664-2618-2

本体 ¥2,700+税



### 大学教授が、「研究だけ」していると思ったら、大間違いだ!〜「不人気学科教授」奮闘記〜

斎藤 恭一 著

イースト・プレス

“大学崩壊”なんて嘆いている暇はない! 教授はただの研究者ではなく、「勤め人」であり、「教育者」である。不人気学科教授が、予算確保に、受験生獲得に、学生指導に奮闘した記録を綴る。

朝日新聞 2020/07/11、読売新聞 2020/07/19

2020:5./ 253p

978-4-7816-1878-4

本体 ¥1,400+税



### 病魔という悪の物語〜チフスのメアリー〜(ちくまプリマー新書)

金森 修 著

筑摩書房

20 世紀初め、腸チフスに罹ったとされ、突然病院に収容されてしまったメアリー。「毒を撒き散らす悪女」として恐れられた彼女の半生を辿りながら、伝染病への偏見などを考える。

朝日新聞 2020/07/11、毎日新聞 2020/07/11

2006:3./ 143p

978-4-480-68729-6

本体 ¥760+税



### ランスへの帰郷

ディディエ・エリボン／三島 憲一 著

みすず書房

パリの知識人となった著者は、父の死を機に数十年ぶりに帰郷する。なぜ出自を恥じ、家族から離反しなければならなかったのか。自伝の形をとりながら、階級社会、右傾化などについて鋭く考察する。仏独ベスト&ロングセラー。

朝日新聞 2020/07/11、毎日新聞 2020/07/18

2020:5./ 257p

978-4-622-08897-4

本体 ¥3,800+税





**アメリカの黒人演説集～キング・マルコムX・モリスン他～(岩波文庫 白 26-1)**

荒 このみ 著

岩波書店

自由と平等はアメリカの夢と嘘でもあることを明かす黒人の歴史。公民権運動、キング、マルコム X の闘争、ハーストンやモリスンの溢れる物語をへて、今オバマの時代まで 21 人の声を聴く。

2008:11./ 404p

978-4-00-340261-0

本体 ¥1,070+税



朝日新聞 2020/07/18



**吉本興業史(角川新書 K-321)**

竹中 功 著

KADOKAWA

“芸人ファースト”を標榜する“ファミリー”の崩壊はいつ始まったのか。吉本興業はこれからどこへ向かうのか。35 年間勤めた「伝説の広報」が、芸人の秘蔵エピソードを交えながら組織を徹底的に解剖する。

2020:6./ 222p

978-4-04-082353-9

本体 ¥900+税



朝日新聞 2020/07/18



**ぼくの宝ばこ**

少年 アヤ 著

講談社

ぼくの記憶と感情が寄り添うもの、場所、あるいは誰か。かぐわしいもの、きらめくものが好きな少年アヤが、好きなものについて語る。辛い日々を生きるヒント。『ハツキス』連載を改題し、書き下ろしを加えて書籍化。

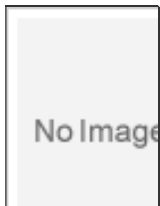
2020:5./ 182p

978-4-06-519233-7

本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2020/07/18



**ピラウド(集英社文庫)**

トニ・モリスン 著

集英社

朝日新聞 2020/07/18

1998:12./ 527p

978-4-08-760349-1

本体 ¥905+税



**あの日、君は何をした(小学館文庫 ま 23-1)**

まさき としか 著

小学館

連続殺人事件の容疑者に間違われて事故死した少年。15 年後、女性殺人の重要参考人になり、行方不明になった会社員。捜査に当たる刑事の三ツ矢は、無関係に見える 2 つの事件をつなぐ鍵を?み...

2020:7./ 365p

978-4-09-406791-0

本体 ¥720+税



朝日新聞 2020/07/18



**蒲団・重右衛門の最後 改版(新潮文庫)**

田山 花袋 著

新潮社

朝日新聞 2020/07/18

2003:8./ 227p

978-4-10-107901-1

本体 ¥400+税





### 断薬記～私がうつ病の薬をやめた理由～(新潮新書 860)

上原 善広 著  
新潮社

うつ病と診断され、大量の向精神薬や睡眠薬を飲み、通院する日々。自殺未遂を経て「減薬」に挑み…。心の支えとなる主治医との出会い、専門医との協力、副作用への対処など、「断薬」までの試行錯誤の過程をすべて明かす。

朝日新聞 2020/07/18

2020:5./ 190p  
978-4-10-610860-0  
本体 ¥720+税



### ルポ老人受刑者

斎藤 充功 著  
中央公論新社

増加する高齢の受刑者たち、福祉施設化する刑務所。彼らは刑務所を安住の地としなければならないのか。受刑者・出所者の生の声、刑務所・更生保護施設への現場取材を通して、漂流する老人たちの現実をさぐったルポルタージュ。

朝日新聞 2020/07/18

2020:5./ 212p  
978-4-12-005303-0  
本体 ¥1,500+税



### 万葉集の起源～東アジアに息づく抒情の系譜～(中公新書 2592)

遠藤 耕太郎 著  
中央公論新社

「万葉集」では人を恋しいと思う気持ちはどう歌われているのか。さらに、それらの歌のルーツはどのようなものだったのか。今も歌垣で恋歌を歌う中国少数民族の歌文化にその原型を求め、日本人の抒情表現の本質を明らかにする。

朝日新聞 2020/07/18

2020:6./ 5p,302p  
978-4-12-102592-0  
本体 ¥900+税



### 神と罂粟(ハヤカワ文庫 NV 1467)

ティム・ベイカー 著  
早川書房

メキシコの国境の街では、長年にわたり残虐な女性強姦殺人が続いていた。捜査を続ける刑事フエンテス、女性労働者の地位向上のため活動するピラールの前に、腐敗した市権力者、カトリック教会、麻薬組織の魔手が…。

朝日新聞 2020/07/18

2020:7./ 518p  
978-4-15-041467-2  
本体 ¥1,420+税



### 世界現代怪異事典

朝里 樹 著  
笠間書院

スレンダーマン、アナベル人形、ネッシー…。20 世紀以降に世界各地で語られた 800 種類以上の怪異・怪物や、アメリカ・カナダの開拓期に生まれた不思議な民話を紹介する。特別寄稿、国別索引、怪異世界史対照年表等も収録。

朝日新聞 2020/07/18

2020:6./ 401p  
978-4-305-70925-7  
本体 ¥2,000+税



### ニューヨーク・タイムズが報じた 100 人の死亡記事

ウィリアム・マクドナルド 編  
河出書房新社

死は、人生を呼び起こし、過去に光を当てる。リンカーン、ヒトラー、スティーブ・ジョブズ、マイケル・ジャクソンなど、近現代史を体現する 100 人の死亡記事を取りあげ、その生き様と死に様を紹介する。

朝日新聞 2020/07/18

2020:5./ 461p  
978-4-309-20797-1  
本体 ¥4,200+税





## 華麗なる誘拐(河出文庫 に 13-1)

西村 京太郎 著

河出書房新社

「日本国民全員を誘拐した。身代金 5 千億円用意しろ」前代未聞の要求が首相に突き付けられた。警察から協力要請を受けた名探偵・左文字進が解決に奔走する中、事件は予想だにしない展開を迎え…。

2020:7./ 424p

978-4-309-41756-1

本体 ¥850+税



朝日新聞 2020/07/18



## ビートルズは終わらない

行方 均 著

シンコーミュージック・エンタテイメント

少年時代にビートルズに夢中になり、仕事でもビートルズに関わった男が今だからこそ語る、ビートルズの真実。月刊『ザ・ビートルズ』連載、英米日オリジナル・アルバム全 58 タイトル解説、新旧・英日ビートルズ対談を収録。

2020:5./ 367p

978-4-401-64924-2

本体 ¥2,000+税



朝日新聞 2020/07/18



## すごいぜ!菌類(ちくまプリマー新書 355)

星野 保 著

筑摩書房

高温や低温、重金属濃度の高い場所なども含め、地球上のありとあらゆるところにいて、その総数は 150 万種とも言われる菌類。カビやきのこ、酵母といった菌類とは何か。様々なエピソードを交えて菌類を紹介する。

2020:7./ 189p

978-4-480-68380-9

本体 ¥800+税



朝日新聞 2020/07/18



## 流浪の月

風良 ゆう 著

東京創元社

愛ではない。けれどそばにいたい。再会すべきではなかったかもしれない男女がもう一度出会ったとき、運命は周囲の人を巻き込みながら疾走を始める。新しい人間関係への旅立ちを描いた長編小説。

2019:8./ 313p

978-4-488-02802-2

本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2020/07/18



## 世界と僕のあいだに

タナハシ・コーツ 著

慶應義塾大学出版会

黒人の肉体は自らの所有物ではなく、白人によって築かれた祖国アメリカの歴史を支えてきた資源にすぎない。冷徹な現実認識をもって、現代アメリカ社会の矛盾を描き、黒人が生き抜く術を教える、父から息子への長い長い手紙。

2017:2./ 189p

978-4-7664-2391-4

本体 ¥2,400+税



朝日新聞 2020/07/18



## なぜ中間層は没落したのか～アメリカ二重経済のジレンマ～

栗林 寛幸 編

ピーター・テミン 著

慶應義塾大学出版会

所得格差が拡大し、中間層が消えつつあるアメリカ。二極化した階層を固定化する政策、低賃金、大量投獄、人種差別…。世界でもっとも裕福な国であるアメリカの現状を、「二重経済モデル」によって描き出す。

2020:5./ 23p,325p

978-4-7664-2674-8

本体 ¥2,700+税



朝日新聞 2020/07/18





### マウス〜完全版〜(フェニックスシリーズ 105)

アート・スピーゲルマン、小野 耕世 著  
パンローリング

戦争前のポーランドでの青春時代と結婚、アウシュヴィッツへの連行…。ホロコーストを体験した父の話を基に、登場人物を動物として描いたグラフィック・ノヴェル。「マウス」「マウスII」を一つにし翻訳に改訂を施した完全版。

2020:6./ 295p

978-4-7759-4221-5

本体 ¥3,500+税



朝日新聞 2020/07/18



### ドリーム・ハラスメント〜「夢」で若者を追い詰める大人たち〜(イースト新書 124)

高部 大問 著  
イースト・プレス

タチの悪い悪意無き共犯者たちによる「夢を持って」の大合唱。その陰に隠れて黙殺されてきたドリーム・ハラスメントという実態。夢を持ってないとヒトは死ぬのか。教育関係者自らが、教育界の長年のタブーを抉り出す。

2020:6./ 278p

978-4-7816-5124-8

本体 ¥860+税



朝日新聞 2020/07/18



### 「文明」と「野蛮」のアーカイヴ〜ゴダール『イメージの本』からリヒター《アトラス》へ〜

飯田 高誉 著  
新曜社

ゴダール「イメージの本」と、リヒター<アトラス>最新版を対峙させ、飼ひ慣らされていないアートを突きつけた「堂島ビエンナーレ 2019」。その展示空間の完全記録と詳細テキストを収録。堀潤之によるゴダール論等も掲載。

2020:5./ 391p

978-4-7885-1663-2

本体 ¥6,800+税



朝日新聞 2020/07/18



### 仕事に「好き」を、混ざっていく。〜あなたの B 面を本業に生かすヒント〜

電通 B チーム 著  
翔泳社

本業(A 面)以外に情熱を傾けられること(B 面)をどのように見つけ、育み、活かすのか。大企業の中で、「ハイパー好きこそ物の上手なれ」で活動し、成果を出し続ける電通 B チームの秘密を公開する。

2020:6./

10p,173p,18p

978-4-7981-6466-3

本体 ¥1,600+税



朝日新聞 2020/07/18



### この世とあの世〜講演集〜

大法輪閣編集部 編  
大法輪閣

浄土、天国、黄泉の国…。私たちは死後どこへ行くのか? 研究者や僧侶ら 11 名が諸宗教の死生観をやさしい語り口で解説する、充実した「現世」を生きるための「来世」講座。『大法輪』掲載を単行本化。

2020:6./ 313p

978-4-8046-1426-7

本体 ¥2,500+税



朝日新聞 2020/07/18



### NPOは何を変えてきたか〜市民社会への道のり〜

川崎あや 著  
有信堂高文社

様々な機能をもつ NPO(民間非営利組織)には「社会を変えていく」という重要な機能がある。NPO がどのように誕生し、変化し、社会の何を変えてきたのかを、著者自身の NPO に関わってきた経験をもとにまとめる。

2020:5./ 14p,188p

978-4-8420-5023-2

本体 ¥2,000+税



朝日新聞 2020/07/18



### 椅子クラフトはなぜ生き残るのか

坂井 素思 著

左右社

木製の椅子生産・椅子消費が減少しているなか、椅子クラフトに何を求めるのか。手づくりの小規模生産が生き残るのはなぜか。ものづくりの将来と日本の経済社会を見据え、クラフト経済の現代的課題と強みをさぐる。

2020:5./ 244p,10p

978-4-86528-277-1

本体 ¥2,000+税



朝日新聞 2020/07/18



### 治虫の国のアリス(TC COMICS)

上野 顕太郎、手塚 治虫 著

マイクロマガジン社

手塚作品の世界に迷い込んでしまった少女が大冒険を繰り広げる、異色のファンタジー。あなたは元ネタが、いくつ分かるかな?

2020:6./ 1冊(ページ付なし)

978-4-86716-031-2

本体 ¥700+税



朝日新聞 2020/07/18



### おべんとうの時間がきらいだった

阿部 直美 著

岩波書店

家族なんてくそくらえ、湿っぽいお弁当なんて開けたくない…。お弁当ハンター・阿部了との夫婦コンビで、文を担当する著者が ANA 機内誌『翼の王国』の人気連載「おべんとうの時間」が誕生するまでの家族の軌跡をたどる。

2020:6./ 6p,230p

978-4-00-061408-5

本体 ¥1,900+税



朝日新聞 2020/07/18、産経新聞 2020/07/19、読売新聞 2020/07/19



### 女帝小池百合子

石井 妙子 著

文藝春秋

女性初の都知事であり、女性初の総理候補とされる小池百合子。キャスターから政治の道へ、男性社会にありながら常に「風」を巻き起こし、権力の頂点を目指す彼女の数奇な半生、つきまとう疑惑を、綿密な取材で描き切る。

2020:5./ 444p

978-4-16-391230-1

本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2020/07/18、読売新聞 2020/07/19



### 塀の中の事情〜刑務所で何が起きているか〜(平凡社新書 941)

清田 浩司 著

平凡社

今、塀の中では何が起きているか。塀の中でも老老介護、外国人受刑者、処遇困難者…塀の中はまさしく現代の日本社会を映す鏡である! 刑務所問題をライフワークとする記者が、刑務所事情を徹底取材する。

2020:5./ 441p

978-4-582-85941-6

本体 ¥1,200+税



朝日新聞 2020/07/18、日本経済新聞 2020/07/18



### やかまし村の子どもたち(リンドグレーン・コレクション)

アストリッド・リンドグレーン、イングリッド・ヴァン・ニイマン、石井 登志子 著

岩波書店

学校へ行ったり、お手伝いをしたり、遊んだり…。豊かな自然の中で、毎日楽しく幸せに暮らす、やかまし村の子どもたちの姿を生き生きと描く。原書と同じイングリッド・ヴァン・ニイマンの挿絵を収録。

2019:6./ 150p

978-4-00-115734-5

本体 ¥1,650+税



朝日新聞 2020/07/25



**マックス・ヴェーバー～主体的人間の悲喜劇～(岩波新書 新赤版 1834)**

今野 元 著

岩波書店

今も読み継がれる名著を数多く残した知の巨人マックス・ヴェーバーの「人格形成物語」を描く試み。個別作品の鑑賞ではなく、それを生み出した文脈、つまりヴェーバーの生涯およびそれを取り巻く歴史的な文脈を解明する。

朝日新聞 2020/07/25

2020:5./ 9p,242p,8p

978-4-00-431834-7

本体 ¥860+税



**つかまえた**

田島 征三 著

偕成社

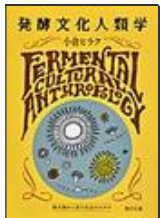
夏のある日、川の浅瀬に大きな魚がいるのをみつけたぼくは、足をすべらせて川に落ちてしまう。水の中で懸命にのばした指が魚にふれると、ぼくは無我夢中でそれをつかまえて…。少年の日の原体験をテーマにした絵本。

朝日新聞 2020/07/25

2020:7./ 32p

978-4-03-222020-9

本体 ¥1,400+税



**発酵文化人類学～微生物から見た社会のカたち～(角川文庫 お 93-1)**

小倉 ヒラク 著

KADOKAWA

ヒトと発酵の出会い、みそ作り、日本各地で出会った個性的な発酵食品…。見えない発酵菌たちのはたらきをデザインを通して可視化する著者が、文化人類学の方法論を駆使して、人間と微生物の織りなす不思議な世界を紹介する。

朝日新聞 2020/07/25

2020:6./ 388p

978-4-04-109291-0

本体 ¥800+税



**無限の中心で**

まはら 三桃 著

講談社

数学オリンピックに挑戦する数学研究部取材することになった、文系少女のとわ。部室では3人の部員が1枚のプリントを前にして興奮していた。なんでも、数学の難問を置いておくと誰かが解答した状態になっているといい…。

朝日新聞 2020/07/25

2020:6./ 253p

978-4-06-519705-9

本体 ¥1,400+税



**男(講談社文芸文庫 こ F11)**

幸田 文 著

講談社

男は黙ってよく働いている。だいじにしなければなあと思う。森林伐採、下水処理、救急医療…日常の暮らしを支える現場で黙々と働く男性たちに注ぐ、やわらかな眼差し。行動する作家・幸田文の「男」をめぐる初の随筆選。

朝日新聞 2020/07/25

2020:7./ 203p

978-4-06-520376-7

本体 ¥1,500+税



**旅のつばくろ**

沢木 耕太郎 著

新潮社

思い起こせば私が初めて1人だけの大旅行をしたのが16歳のときの東北一周旅行だった…。世界を巡ってきた著者が、あの頃のように日本を気ままに歩いて綴った旅エッセイ。JR 東日本車内誌『トランヴェール』連載を単行本化。

朝日新聞 2020/07/25

2020:4./ 213p

978-4-10-327521-3

本体 ¥1,000+税





### マックス・ウェーバー～近代と格闘した思想家～(中公新書 2594)

野口 雅弘 著

中央公論新社

合理性や官僚制というキーワードを元に、資本主義の発展や近代社会の特質を研究し、政治・経済学をはじめ幅広い学問分野に多大な影響を及ぼしたマックス・ウェーバー。彼の 56 年の生涯を辿りつつ、思想のエッセンスを解説。

朝日新聞 2020/07/25

2020:5./ 8p,276p

978-4-12-102594-4

本体 ¥860+税



### 自殺論 改版(中公文庫 テ4-2)

デュルケーム 著

中央公論新社

19 世紀ヨーロッパにおける自殺率の統計を仔細に分析し、自殺を「自己本位的」「宿命的」など 4 つに分類。生の意味喪失や疎外感など、現代社会における個人の存在の危機をいち早く指摘した、近代社会学の礎となる名著を完訳。

朝日新聞 2020/07/25

2018:9./ 707p

978-4-12-206642-7

本体 ¥1,500+税



### 三つ編み

レティシア・コロンバニ、齋藤 可津子 著

早川書房

インド、イタリア、カナダ。3 大陸の 3 人の女性。かけ離れた境遇に生きる彼女たちに共通しているのは、女性に押しつけられる困難と差別のために立ち向かっていること...。逆境を生きる女性の連帯を描く物語。

朝日新聞 2020/07/25

2019:4./ 255p

978-4-15-209855-9

本体 ¥1,600+税



### 死者との対話

石原 慎太郎 著

文藝春秋

インパール作戦で多数の戦友を失った男が戦後にとった行動とは？ 死に直面する作家が自在なリズムで自己と対話する。末期患者と看護人の間に芽生えた奇妙な友情...。死と直面する自らをも捉える短編集。7 編を収録。

朝日新聞 2020/07/25

2020:5./ 189p

978-4-16-391205-9

本体 ¥1,700+税



### 何が起きたのか?

ヒラリー・ロダム・クリントン、高山 祥子 著

光文社

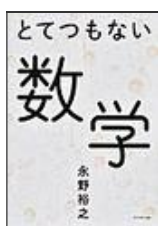
ドナルド・トランプのような人間と大統領選を戦うとはどういうことか？ 憤怒、男性上位主義、ロシアの妨害...。アメリカで初めて主要政党の大統領候補となった女性、ヒラリー・ロダム・クリントンが、自身の強烈な体験を綴る。

朝日新聞 2020/07/25

2018:7./ 513p

978-4-334-96220-3

本体 ¥2,000+税



### とてつもない数学

永野 裕之 著

ダイヤモンド社

数学は理性にばかりではなく、感性にも訴える。黄金比や音階などに代表される絵画・彫刻・建築・音楽の基礎は数学が与えたものである。数学のとてつもない価値と魅力を豊かに、多角的に伝える。

朝日新聞 2020/07/25

2020:6./ 359p

978-4-478-10882-6

本体 ¥1,700+税







### 森の文学館〜緑の記憶の物語〜(ちくま文庫 わ 13-5)

和田 博文 編  
筑摩書房

人の心の奥にある根源的な存在としての森を語る宮崎駿、森に住む不思議な存在の物語を紡ぐ佐藤さとるや倉本聰、都会の中に森を幻視する稲葉真弓…。森という魅惑のトポスで生まれた珠玉の 37 篇。

2020:7./ 380p

978-4-480-43685-6

本体 ¥840+税



朝日新聞 2020/07/25



### NEO ECONOMY〜世界の知性が挑む経済の謎〜

日本経済新聞社 編  
日本経済新聞出版社

デジタル技術の進歩は、人類が体験したことのない世界を創る。形ある富から、姿なき富へ、パラダイムは完全に変わったのだ。金融、産業、消費の最前線で現実となっている大変化をルポし、パラダイム・シフトの本質を説く。

2020:5./ 277p

978-4-532-35852-5

本体 ¥1,700+税



朝日新聞 2020/07/25



### 問いのデザイン〜創造的対話のファシリテーション〜

安斎 勇樹／塩瀬 隆之 著  
学芸出版社

問題の本質をどう見抜くか。固定観念をいかに壊すか。どうすれば課題が自分事になるか。商品開発、組織変革、学校教育、地域活性化等でファシリテーターに必要な思考とスキルを解説する。資生堂、京浜急行電鉄などの事例も収録。

2020:6./ 299p

978-4-7615-2743-3

本体 ¥2,700+税



朝日新聞 2020/07/25



### ひれふせ、女たち〜ミソジニーの論理〜

ケイト・マン、小川 芳範 著  
慶應義塾大学出版会

「女性嫌悪」とされるミソジニーとは何か? 社会生活と政治の中にある「ミソジニー」を、分析哲学的アプローチで探究することで定義し直し、それがどのように機能しているか明らかにする。

2019:11./ 408p,27p

978-4-7664-2635-9

本体 ¥3,200+税



朝日新聞 2020/07/25



### #KuToo〜靴から考える本気のフェミニズム〜

石川 優実 著  
現代書館

職場でのパンプス義務付け反対運動「#KuToo」を始めたグラビア女優・石川優実がフェミニストになるまでの変化を綴る。彼女に対するバッシングの実態、労働について考えた対談も収録。テキストデータ請求券付き。

2019:11./ 222p

978-4-7684-5868-6

本体 ¥1,300+税



朝日新聞 2020/07/25



### 健康的で清潔で、道徳的な秩序ある社会の不自由さについて

熊代 亨 著  
イースト・プレス

社会の進歩により当然のものとなった通念は、人々に「自由」を与えた一方で、個人の認識や行動を「束縛」しているのではないだろうか。健康、少子化、清潔、空間設計などを軸に、令和時代ならではの「生きづらさ」を読み解く。

2020:6./ 314p

978-4-7816-1888-3

本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2020/07/25



## 新自殺論～自己イメージから自殺を読み解く社会学～

大村 英昭／阪本 俊生 著  
青弓社

自殺を考察するためには、個人的事情の背後に隠された要因の究明が必要。自殺率統計を援用しながら、ゴフマンが提起する自己のイメージの概念をデュルケムと関連づけて考察。デュルケムの「自殺論」を現代に適用して分析する。

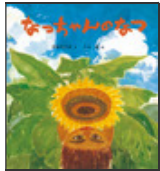
2020:5./ 291p

978-4-7872-3468-1

本体 ¥3,400+税



朝日新聞 2020/07/25



## なっちゃんのはな(かがくのとも絵本)

伊藤 比呂美、片山 健 著  
福音館書店

なっちゃんがひとりで川原にでかけてみると、今は夏のまっさかり。草が生い茂り、花が咲き、虫たちがうようよしています。夕立におそわれ、家に帰ると、おばあさんからお墓参りにいこうと誘われ…。日本の夏を描いた絵本。

2019:6./ 27p

978-4-8340-8466-5

本体 ¥900+税



朝日新聞 2020/07/25



## ボーイズ 男の子はなぜ「男らしく」育つのか

レイチェル・ギーザ 著  
DU BOOKS

今、男の子の育て方に何が起きているのか？ 男子限定の性教育授業や少年スポーツリーグへの取材、トランスジェンダーの子どもをもつ親たちとの対話等を通して、現代のリアルな「男の子」に切り込む。

2019:3./ 335p,36p

978-4-86647-088-7

本体 ¥2,800+税



朝日新聞 2020/07/25



## 米寿を過ぎて長い旅

山折 哲雄 著  
海風社

「ひとり」を楽しむけれど、孤独じゃない。生きるということ、老いるということ、死を迎えるということの意味を自らの生老病死に重ね合わせて、日本人の本質に迫る。深い思考と寛容の精神に出会う極上のエッセイ。

2020:6./ 295p

978-4-87616-062-4

本体 ¥1,800+税



朝日新聞 2020/07/25



## 暮らしの古典歳時記(角川選書 639)

吉海 直人 著  
KADOKAWA

夕方鳴くのは「からす」か「かえる」か？ 蛭が登場する最古の古典は「日本書紀」？ 旬の食べ物、花鳥風月、年中・伝統行事、日々の暮らしにまつわる豊富な話題から、古典文学の楽しみ方を解き明かす。

2020:6./ 212p

978-4-04-703693-2

本体 ¥1,500+税



朝日新聞 2020/07/25、読売新聞 2020/07/26



## 動きた時計～ベトナム残留日本兵とその家族～

小松みゆき 著  
めこん

第2次世界大戦後も帰国せずにベトナムに残った日本兵やその家族たちとの30年におよぶ交流の記録。ベトナムの政治・社会史の専門家による歴史的な背景の解説、手記や手紙などの資料も収録する。

2020:5./ 317p

978-4-8396-0321-2

本体 ¥2,500+税



朝日新聞 2020/07/25、日本経済新聞 2020/07/25



### 見えない絶景～深海底巨大地形～(ブルーボックス B-2116)

藤岡 換太郎 著  
講談社

地球を2周する長さの巨大山脈、日本列島の数倍もある台地…。深海の巨大地形には、地球形成の歴史が刻みつけられている。それが何を意味するのか、そこから読みとれる地球のなりたちとはどのようなものなのかを解説する。

東京・中日新聞 2020/07/05

2020:5./ 254p

978-4-06-517904-8

本体 ¥1,000+税



### 朝鮮半島と日本の未来(集英社新書 1022)

姜 尚中 著  
集英社

朝鮮戦争勃発から70年。朝鮮半島の統一は実現するのか？そして日本には何が起こるのか？「第一次核危機」以降の北東アジア四半世紀の歴史を丹念に総括しながら、一脈の光明を見据えて朝鮮半島と日本の進むべき道を探る。

東京・中日新聞 2020/07/05

2020:5./ 253p

978-4-08-721122-1

本体 ¥860+税



### 美術館って、おもしろい！～展覧会のつくりかた、働く人たち、美術館の歴史、裏も表もすべてわかる本～

モラヴィア美術館 編  
河出書房新社

絵で見てわかる、美術館のすべて。美術館の歴史やしごと、展覧会のつくりかたなどを、カラフルな絵や広がるページで楽しく解説します。子どもはもちろん、ヨーロッパ美術の流れを教養として知りたい大人にも最適。

東京・中日新聞 2020/07/05

2020:5./ 61p

978-4-309-25657-3

本体 ¥3,200+税



### わたしの全てのわたしたち

サラ・クロッサン 著  
ハーバーコリンズ・ジャパン

16歳のグレースとティッピーは、腰から下がつながった結合双生児。初めての学校生活、友情、恋、そして別れを詩のかたちで綴ったカーネギー賞等受賞作を、詩人・最果タビと翻訳家・金原瑞人の共訳、祖父江慎の装幀で書籍化。

東京・中日新聞 2020/07/05

2020:6./ 403p

978-4-596-55211-2

本体 ¥1,700+税



### パラ・スター<Side 百花>(集英社文庫 あ 82-2)

阿部 暁子 著  
集英社

車いすメーカーで働く百花の夢は、親友で車いすテニス選手の宝良のために最高の競技用車いすを作ること。華々しく活躍する宝良に対して、新米エンジニアの自分に焦る百花は、はじめて顧客との面談を担当することになり…。

東京・中日新聞 2020/07/11

2020:2./ 280p

978-4-08-744084-3

本体 ¥580+税



### パラ・スター<Side 宝良>(集英社文庫 あ 82-3)

阿部 暁子 著  
集英社

不調が続く、車いすテニス選手の宝良は、親友の百花が働くメーカーの競技用車いすを採用。百花や小学生みちるとの交流を経て、競技への思いを強くする。そして、世界の強豪選手が揃うアジア最高峰の大会の幕が上がり…。

東京・中日新聞 2020/07/11

2020:3./ 326p

978-4-08-744091-1

本体 ¥640+税





### 彼女たちの部屋

レティシア・コロバンニ 著

早川書房

困窮した女性たちの支援施設で働くことになった弁護士のソレーヌ。一方、救世軍のブランシュは街中の貧困と闘い…。現代と約 100 年前のパリで、女性のための居場所づくりに人生を捧げたヒロインを描く感動作。

東京・中日新聞 2020/07/11、東京・中日新聞 2020/07/19、朝日新聞 2020/07/25

2020:6./ 251p

978-4-15-209938-9

本体 ¥1,600+税



### 天皇皇后両陛下が受けた特別講義～講書始のご進講～

KADOKAWA 編

KADOKAWA

150 年以上昔から宮中で脈々と続いてきた「講書始の儀」。平成 23 年から令和 2 年までの「講書始の儀」より、人文科学・社会科学・自然科学の各分野にわたる多彩なテーマの 30 講義を収録する。

東京・中日新聞 2020/07/12

2020:5./ 317p

978-4-04-604752-6

本体 ¥1,500+税



### 天才の考え方～藤井聡太とは何者か?～

渡辺 明／加藤 一二三 著

中央公論新社

「直感 95%」のひふみんと、「AI」を駆使する現役最強棋士・渡辺明が、天才たちの頭の中を考察。大山康晴から藤井聡太まで、昭和から令和の棋士を分析する。2 人の対談「アナログ思考 vs.AI 思考」も収録。

東京・中日新聞 2020/07/12

2020:4./ 219p

978-4-12-005297-2

本体 ¥1,400+税



### 大ピアニストは語る

原田 光子 編

河出書房新社

パハマンからカサドゥジュにいたる、大ピアニスト 20 人の演奏の奥義をまとめた名著の復刊。萩谷由喜子による新たな解説と、詳細な CD ディスコグラフィも掲載する。

東京・中日新聞 2020/07/12

2020:5./ 240p

978-4-309-25656-6

本体 ¥3,200+税



### 東京の面影～安藤鶴夫随筆傑作選～

安藤鶴夫 著

幻戯書房

古今亭志ん生の復活劇、消えた町の物売りの声、神田神保町の散歩…。明治に生まれ、昭和に生きた天才エッセイスト・安藤鶴夫が綴った、逝きし幻の東京の街並み、人、芸、味が蘇る一冊。

東京・中日新聞 2020/07/12

2020:5./ 261p

978-4-86488-197-5

本体 ¥2,600+税



### 合成テクノロジーが世界をつくり変える～生命・物質・地球の未来と人類の選択～

クリストファー・プレストン 著

合同出版

生命・物質・地球をつくり変える合成テクノロジー。人類が神の領域に迫りつつあるいま、変成新世における未来への選択が問われている。人類の及ぼす惑星規模の変化を、テクノロジーの面から探究する。

東京・中日新聞 2020/07/18

2020:7./ 285p

978-4-7726-9569-5

本体 ¥2,300+税







### 海洋プラスチック～永遠のごみの行方～(角川新書 K-318)

保坂 直紀 著

KADOKAWA

マイバッグは本当に意味があるのか。プラスチックごみによる海洋汚染や生き物の被害が世界中で報告されるなか、問題を追い続けるサイエンスライターが、永遠のごみの現状を報告し、ごみとの向き合い方を提示する。

2020:6./ 234p

978-4-04-082343-0

本体 ¥900+税



東京・中日新聞 2020/07/18、読売新聞 2020/07/19



### 戦後日本政治の総括

田原 総一郎 著

岩波書店

なぜ日本はこうなってしまったのか。歴代首相の肉声、政策の裏の意図、知られざる駆引き…。稀代のジャーナリストが、現在に帰結する戦後日本政治を総括。混乱の原因と再生のための展望を示す。『世界』連載に加筆し単行本化。

2020:6./ 12p,242p

978-4-00-061410-8

本体 ¥1,900+税



東京・中日新聞 2020/07/19



### 人々を食う

遠藤 ケイ 著

山と溪谷社

人は何をどう捕って、どう食べてきたのか。野兎やカラス、トウゴロウ(カミキリムシの幼虫)、岩茸、鮎、山椒魚、イナゴ、熊、ツチクジラなど、かつて私たちが享受した自然の恵みと原風景の記録と考察。

2020:5./ 335p

978-4-635-81016-6

本体 ¥1,500+税



東京・中日新聞 2020/07/19



### あめつちのうた

朝倉 宏景 著

講談社

運動が苦手な雨宮大地は、甲子園球場の整備を請け負う阪神園芸へと入社するが、仕事は失敗続き。自分は本当に一人前になれるのだろうか? 仲間たちと関わり合いながら、自らの弱い心を掘り起こすように土へ向き合っていく。

2020:6./ 363p

978-4-06-519687-8

本体 ¥1,600+税



東京・中日新聞 2020/07/26



### 持続可能な魂の利用

松田 青子 著

中央公論新社

無職になった 30 代の敬子は、男社会の闇を味わうも、心は裏腹に男が演出する女性アイドルにはまってしまう。敬子は思いがけずこの国の“地獄”を変える“賭け”に挑むことに。『アンデル 小さな文芸誌』他連載を単行本化。

2020:5./ 240p

978-4-12-005306-1

本体 ¥1,500+税



東京・中日新聞 2020/07/26



### 世界文学論(徹夜の塊 3)

沼野 充義 著

作品社

世界文学の読み方、外国文学の受容や影響、詩、20 世紀中欧の作家など、これまで様々な機会に書いてきた「世界文学論」に関わりのある文章をまとめる。「亡命文学論」「ユートピア文学論」に続く「徹夜の塊」三部作、完結篇。

2020:4./ 717p,28p

978-4-86182-801-0

本体 ¥5,200+税



東京・中日新聞 2020/07/26



## 秋(CREST BOOKS)

アリ・スミス 著

新潮社

眠りにつける 101 歳の老人。かたわらで本を読む 32 歳の女性。老人は少女時代の彼女に詩や小説、舞台や絵画の魅力を伝えていた…。かつてない分断にさらされるイギリスと、時代の変転を越えてつづいてゆく人々の人生を描く。

読売新聞 2020/07/05

2020:3./ 247p

978-4-10-590164-6

本体 ¥2,000+税



## 138億年宇宙の旅<上>(ハヤカワ文庫 NF 540)

クリストフ・ガルファール、塩原 通緒 著

早川書房

ホーキング博士の直弟子であるサイエンスライターが、ロマン溢れる語り口で、宇宙物理学の世界をその場でじかに体験するかのように案内する。叙事詩さながらの宇宙学入門書という新たな地平を切り拓いた知的野心作。

読売新聞 2020/07/05

2019:6./ 310p

978-4-15-050540-0

本体 ¥860+税



## 138億年宇宙の旅<下>(ハヤカワ文庫 NF 541)

クリストフ・ガルファール、塩原 通緒 著

早川書房

ホーキング博士の直弟子であるサイエンスライターが、ロマン溢れる語り口で、宇宙物理学の世界をその場でじかに体験するかのように案内する。叙事詩さながらの宇宙学入門書という新たな地平を切り拓いた知的野心作。

読売新聞 2020/07/05

2019:6./ 280p

978-4-15-050541-7

本体 ¥860+税



## 危機の時代～伝説の投資家が語る経済とマネーの未来～

ジム・ロジャーズ 著

日経BP社

新型コロナ、株価暴落…。世界同時不況をどう乗り切るか。伝説の投資家ジム・ロジャーズが、今起きている危機とその予兆、過去の経済危機の際に起きたこと、人々の生活への影響、個人や企業が取べき行動などについて語る。

読売新聞 2020/07/05

2020:5./ 267p

978-4-296-10547-2

本体 ¥1,600+税



## はら吹き男爵の冒険(光文社古典新訳文庫 KAヒ3-1)

ビュルガー 著

光文社

海中、地底、月世界をも股に掛ける大冒険はいかに成し遂げられたのか。世界各地を旅したミュンヒハウゼン男爵が奇妙奇天烈な体験を語る。有名なドレの挿画も全点収録。

読売新聞 2020/07/05

2020:6./ 273p

978-4-334-75426-6

本体 ¥880+税



## ベートーヴェンの愛弟子～フェルディナント・リースの数奇なる運命～

かげはら 史帆 著

春秋社

楽聖ベートーヴェンと同じ町に生まれ、弟子としてその背中を追ひ、音楽史のターニングポイントを駆け抜けた音楽家がいた。フェルディナント・リースの波乱の生涯をまとめた伝記。年表・全作品リスト・アルバムガイド付き。

読売新聞 2020/07/05

2020:4./ 7p,223p,53p

978-4-393-93220-9

本体 ¥2,200+税





### 英国バレエの世界

山本 康介 著

世界文化社

元バーミンガム・ロイヤル・バレエのファーストソリストが、バレエとの出会いから現在までを語り、英国バレエの歴史や最旬事情を紐解く。英国的おすすめ演目徹底解説も掲載。レッスン動画が視聴できる QR コード付き。

2020:3./ 222p

978-4-418-20202-7

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2020/07/05



### 流言蜚語(ちくま学芸文庫 シ 26-1)

清水 幾太郎 著

筑摩書房

読売新聞 2020/07/05

2011:6./ 315p

978-4-480-09390-5

本体 ¥1,100+税



### 運命の八分休符(創元推理文庫 M れ 1-3)

連城 三紀彦 著

東京創元社

心優しき落ちこぼれ青年・軍平は、度々事件にまきこまれては、素人探偵として奔走する羽目に…。殺人の容疑をかけられたモデルを救うためアリバイ崩しに挑む表題作など、5人の女性をめぐる5つの短編を収録する。

2020:5./ 283p

978-4-488-49813-9

本体 ¥780+税



読売新聞 2020/07/05



### 相対化する知性～人工知能が世界の見方をどう変えるのか～

西山 圭太／松尾 豊／小林 慶一郎／西山 圭太／松尾 豊／小林 慶一郎 著

日本評論社

人工知能の登場を契機として、相対化されることになった人間の知性。人工知能の出現と社会実装の進展が、人間の知の枠組みや社会の統合の理念にどのような影響を及ぼし得るのかを考察する。

2020:3./ 8p,336p,8p

978-4-535-55907-3

本体 ¥2,700+税



読売新聞 2020/07/05



### ハッピーママアン

ウィスットボンニミット 著

ハーバーコリンズ・ジャパン

ママアンちゃんは、まわりの人たちを自然と幸せにするピュアな女の子。泣くときはよく泣き、笑うときはよく笑う感情豊かな性格です…。カラフルでかわいい 4コママンガと心あたたまるメッセージイラスト集。

2020:5./ 107p

978-4-596-55212-9

本体 ¥1,200+税



読売新聞 2020/07/05



### 教養の会計学～ゲーム理論と実験でデザインする～

田口 聡志 著

ミネルヴァ書房

これからの会計学はどこへ向かうのか。伝統的な会計学(簿記や決算書)から一度離れ、新しい接点(ゲーム理論や実験経済学)から会計学とは何かを解き明かす。新しい時代の会計人が身につけるべき教養を提示する入門テキスト。

2020:7./ 13p,222p

978-4-623-08835-5

本体 ¥2,800+税



読売新聞 2020/07/05



### 交響曲第6番「炭素物語」〜地球と生命の進化を導く元素〜

ロバート・M・ヘイゼン 著

化学同人

炭素は暮らしを支えるばかりか、地球の誕生・進化と未来、人類の行く末など、根源の問いにもからむ。詩心たっぴりな地球科学者が、宇宙の成り立ちと過去・現在・未来に深くかかわる炭素の意外な素顔を浮き彫りにする。

2020:4./ 8p,284p

978-4-7598-2032-4

本体 ¥2,400+税



読売新聞 2020/07/05



### MOONSHOTS〜宇宙探査 50 年をとらえた奇跡の記録写真〜

ピアーズ・ビゾニー、佐藤 健寿、藤崎 百合 著

玄光社

ジェミニ、アポロ、スペースシャトル、ISS の宇宙飛行士が撮影した月、宇宙、宇宙から見た地球、宇宙船内、ロケット打ち上げ、国際宇宙ステーションの建設…。NASA 宇宙探査の歴史を写真で振り返る。

2019:2./ 240p

978-4-7683-1129-5

本体 ¥4,200+税



読売新聞 2020/07/05



### 琉球王国の象徴 首里城(シリーズ「遺跡を学ぶ」145)

當眞 嗣一 著

新泉社

琉球王国の政治・経済・文化の中心的役割をはたしてきた城、首里城。その真の姿を発掘調査によって追究してきた著者が、首里城の特色と出土した貿易陶磁器、武器・武具、装飾品などを解説する。カラー図版も豊富に収録。

2020:3./ 93p

978-4-7877-2035-1

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2020/07/05



### 地獄は克服できる(草思社文庫 へ1-7)

フォルカー・ミヒエルス 編

ヘルマン・ヘッセ 著

草思社

挫折を繰り返し、自殺願望や鬱に苦しめられたヘッセが、心の悩みからの脱出法や苦しみとの付き合い方などについて綴った文章をまとめる。ストレスに悩む現代人のための妙薬となる一冊。

2020:6./ 315p

978-4-7942-2455-2

本体 ¥900+税



読売新聞 2020/07/05



### オーデュボンの鳥〜『アメリカの鳥類』セクション〜

新評論

19 世紀アメリカの鳥類研究家・画家オーデュボンによる全 435 点の手彩色版画集から 150 点を精選。コンパクトサイズ、オールカラーで複製し、鳥たちの実物写真をそえて、生態や保全状況の概要を解説する。

2020:4./ 210p

978-4-7948-1138-7

本体 ¥2,000+税



読売新聞 2020/07/05



### 映画には「動機(ワケ)」がある〜「最前線の映画」を読む Vol.2〜(インターナショナル新書 055)

町山 智浩 著

集英社インターナショナル

「シェイプ・オブ・ウォーター」のヒロインはなぜ口が利けないのか? 「スリー・ビルボード」の暴力警官は、なぜ ABBA を聞くのか? 映画のワン・シーンに込められた、監督の「ワケ」を深読みする。

2020:6./ 205p

978-4-7976-8055-3

本体 ¥820+税



読売新聞 2020/07/05





### 世界でいちばん素敵な夜空の教室

三才ブックス

天の川の正体は？ 星はなんでキラキラしているの？ なんで国によって見える星が違うの？ 冬の夜空の見どころは？ 夜のふしぎ、星のひみつを、美しい夜空の景色とともにやさしく紹介します。星空観光スポットも掲載。

読売新聞 2020/07/05

2015:12./ 159p

978-4-86199-832-4

本体 ¥1,400+税



### ビジュアルハッブル望遠鏡が見た宇宙(NATIONAL GEOGRAPHIC)

デビッド・デボーキン、ロバート・W.スミス、金子 周介 著

日経ナショナルジオグラフィック社

衝突する銀河、生まれたばかりの星々、130 億光年先の深宇宙、華々しい星の爆発...。ハッブル宇宙望遠鏡がとらえた、あざやかな宇宙の姿とともに、宇宙の神秘と宇宙望遠鏡の歴史、機能などを紹介する。

読売新聞 2020/07/05

2011:7./ 223p

978-4-86313-145-3

本体 ¥3,000+税



### <美しい本>の文化誌～装幀百十年の系譜～

白田 捷治 著

Book&Design

「美しい本」とは何か？ 明治から令和へと続く日本の造本文化を支えてきた装幀家、編集者、画家らの仕事でたどる、日本近代装幀文化史。橋口五葉、小村雪岱、齋藤昌三、花森安治、藤田嗣治、東郷青児ほかを取り上げる。

読売新聞 2020/07/05

2020:4./ 318p 図版

16p

978-4-909718-03-7

本体 ¥3,000+税



### 仕事本～わたしたちの緊急事態日記～

尾崎 世界観／町田 康／花田 菜々子 著

左右社

ひとつの仕事は誰かの生活につながり、その生活がまた別の人の仕事を支えている！パン屋、内科医、校長など、緊急事態宣言が出される中、コロナにも負けず働いていた様々な職業の人たち 77 人の 2020 年 4 月の日記を収録。

読売新聞 2020/07/05、日本経済新聞 2020/07/18

2020:6./ 446p

978-4-86528-283-2

本体 ¥2,000+税



### 日本俗信辞典<植物編>(角川ソフィア文庫 J132-2)

鈴木 棠三 著

KADOKAWA

「予兆・占い・禁忌・呪い」に関する民間の知識や技術の伝承を収集した言い伝え辞典。「ミョウガを食べると物忘れをする」「モモを食って川へ行くと河童に引かれる」など、283 項目の植物に関する言い伝えを収める。

読売新聞 2020/07/12

2020:6./ 536p

978-4-04-400591-7

本体 ¥1,560+税



### 蝶の唆(おし)え～現代のファールブルが語る自伝エッセイ～

奥本 大三郎 著

小学館

ギンヤンマ、進駐軍、ラジオ...。懐かしいものがたくさん詰まった、大人のための児童文学。ひと昔前の日本人と社会風俗、そして少年の心象風景とあいまって、のちに虫好きフランス文学者となる著者の少年期を鮮やかに描く。

読売新聞 2020/07/12

2020:4./ 239p

978-4-09-388751-9

本体 ¥1,800+税





**カレーライス～教室で出会った重松清～(新潮文庫 し-43-29)**

重松 清 著

新潮社

給食の味が、放課後の空気が、先生や友だちの声がよみがえる。学習教材にたびたび登場する重松清の作品のなかから、表題作ほか全 9 編を収録。おとなになっても忘れない、子どもたちの心とことばを育ててくれた名作集。

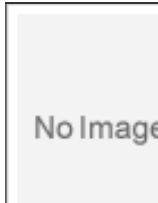
2020:7./ 277p

978-4-10-134939-8

本体 ¥590+税



読売新聞 2020/07/12



**真昼のプリニウス(中公文庫)**

池沢 夏樹 著

中央公論新社

読売新聞 2020/07/12

1999:4./ 265p

978-4-12-202036-8

本体 ¥590+税



**イスラエル諜報機関暗殺作戦全史<上>**

ロネン・バーグマン 著

早川書房

技術大国の軍事能力がゲリラ戦という異質な手段と融合して生まれた暗殺機構。イスラエルの情報機関の工作員、指導者、活動手段、作戦審議、成功、失敗、および倫理的代償について、その実情を描き出す。

2020:6./ 542p

978-4-15-209943-3

本体 ¥3,200+税



読売新聞 2020/07/12



**イスラエル諜報機関暗殺作戦全史<下>**

ロネン・バーグマン 著

早川書房

ほぼすべての暗殺作戦には、その時々イスラエル首相による政治決定がある。イスラエルの情報機関の工作員、指導者、活動手段、作戦審議、成功、失敗、および倫理的代償について、その実情を描き出す。

2020:6./ 478p

978-4-15-209944-0

本体 ¥3,200+税



読売新聞 2020/07/12



**月の光～現代中国 SF アンソロジー～(新☆ハヤカワ・SF・シリーズ 5047)**

ケン・リュウ 編

早川書房

国家のエネルギー政策に携わる男が奇妙な電話を受ける。人類と地球の絶望的な未来と、それを防ぐ処方箋を提示され…。『三体』の劉慈欣による表題作をはじめとする、14 作家による現代最先端の中国 SF16 篇を収録。

2020:3./ 510p

978-4-15-335047-2

本体 ¥2,200+税



読売新聞 2020/07/12



**昭和史がわかるブックガイド(文春新書 1262)**

文春新書編 著

文藝春秋

昭和の歴史を詳しく知りたい、考えたいというときに読み進めるべき本は何か? 「外交」「満洲」「陸軍の戦い」などのテーマ別に、21 人の識者が昭和史を学ぶ上で欠かせない 200 冊超を紹介するブックガイド。

2020:5./ 287p

978-4-16-661262-8

本体 ¥950+税



読売新聞 2020/07/12



**ミッドナйтスワン(文春文庫 う 37-1)**

内田 英治 著

文藝春秋

故郷を離れ、新宿のニューハーフショークラブのステージに立つ、トランスジェンダーの風沙。ある日、育児放棄にあっていた少女・一果を預かることになり…。2020 年 9 月公開の同名映画を監督が自ら小説化。

2020:7./ 302p

978-4-16-791523-0

本体 ¥700+税



読売新聞 2020/07/12



**旅が好きだ!~21 人が見つけた新たな世界への扉~(14 歳の世渡り術)**

河出書房新社 編

河出書房新社

人生には、旅が必要だ! どんなにネットが発達しても自ら訪ねないと見られない・得られないものがある。国内から海外の秘境まで、21 人の無類の旅好きたちが全力で旅の魅力を伝える。旅のブックガイド付き。

2020:6./ 190p

978-4-309-61723-7

本体 ¥1,400+税



読売新聞 2020/07/12



**記憶する体**

伊藤 亜紗 著

春秋社

階段のおり方、痛みとのつきあい方…。「その人のその体らしさ」はいかに育まれるのか。障害をもつ人の 11 のエピソードを通して、体に蓄積する記憶と知恵を考察する。春秋社のウェブマガジン連載をもとに単行本化。

2019:9./ 277p

978-4-393-33373-0

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2020/07/12



**知っておきたい日本の絶滅危惧植物図鑑**

長澤 淳一／瀬戸口 浩彰 著

創元社

主な絶滅危惧植物 100 種以上を紹介。代表的な種の写真や解説のほか、危険度ランクやレッドリスト、生物多様性など、私たちが知っておくべき基本的な知識や保全活動の現状などをまとめる。和名索引付き。

2020:4./ 238p

978-4-422-43030-0

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2020/07/12



**翻訳できない世界のことば**

エラ・フランシス・サンダース、前田 まゆみ 著

創元社

インドネシア語「JAYUS」(笑うしかないくらい笑えないひどいジョーク)など、他の言語に訳すと言では言い表せない「翻訳できないことば」を世界中から集め、感性豊かな解説と瀟洒なイラストを添えて紹介する。

2016:4./ 111p

978-4-422-70104-2

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2020/07/12



**まんが訳酒呑童子絵巻(ちくま新書 1493)**

大塚 英志、山本 忠宏 編

筑摩書房

コマを割って絵巻物がまんがに! 武家源氏の始祖・源頼光の活躍を描く「酒呑童子絵巻」の他、「道成寺縁起」「土蜘蛛草子」と解説 3 編を収録。室町時代から日本人に愛されてきた物語が、まんがでよみがえる。

2020:5./ 222p

978-4-480-07315-0

本体 ¥980+税



読売新聞 2020/07/12



### 家が呼ぶ～物件ホラー傑作選～(ちくま文庫 あ 64-1)

朝宮 運河 編  
筑摩書房

住みたくない、帰りたくない、逃げられない…。さまざまなタイプの「家」をモチーフ&舞台にしたホラー短編作品を一堂に集結。中島らも「はなびえ」、高橋克彦「幽霊屋敷」、小松左京「くだんのはは」など全 11 編を収録する。

2020:6./ 314p

978-4-480-43669-6

本体 ¥900+税



読売新聞 2020/07/12



### 世界薬用植物図鑑～イギリス王立植物園キューガーデン版～

モニク・シモンズ／メラニー＝ジェイン・ハウズ／ジェイソン・アーヴィング 著  
原書房

世界中の 270 種以上の薬用植物を美しい図版とともに解説する。自家製ハーブティーやオイル、チンキ剤、クリームなど伝統的に安全性が確認されている 24 の実用的レシピ、薬草をガーデニングにとりいれる情報も掲載。

2020:5./ 224p

978-4-562-05738-2

本体 ¥3,800+税



読売新聞 2020/07/12



### 母親が知らないヤバイ「男の子」の育て方(PHP 文庫 や 53-1)

柳沢 幸雄 著  
PHP研究所

親子の関係が難しくなる思春期。前・開成中学校・高等学校校長が、思春期の男の子の微妙な心理や体の成長を説明しながら、日米の比較や教育現場の事例を基に、具体的に親は何をすべきなのかをアドバイスする。

2020:6./ 270p

978-4-569-90028-5

本体 ¥800+税



読売新聞 2020/07/12



### 公文書危機～闇に葬られた記録～

毎日新聞取材班 著  
毎日新聞出版

霞が関には闇から闇に消える文書がある-。「森友・加計学園」や「桜を見る会」の問題で明らかになった、公文書の軽視。安倍政権によってエスカレートする民主主義崩壊の実態に迫る。

2020:6./ 252p

978-4-620-32632-0

本体 ¥1,500+税



読売新聞 2020/07/12



### それでも。マキアヴェッリ、パスカル

カルロ・ギンズブルグ 著  
みすず書房

近代的な「統治の技術」を理論化したマキアヴェッリ。「永遠の空間の無限の沈黙」を畏怖した信仰者パスカル。ふたりの継承関係を追い、政治神学の隠れた歴史を読み解く。

2020:6./ 335p,6p

978-4-622-08910-0

本体 ¥5,700+税



読売新聞 2020/07/12



### ぼくは翻訳についてこう考えています～柴田元幸の意見 100～

柴田 元幸 著  
アルク

近現代の英米文学作品を、独自の視点で選び抜いて翻訳している著者が、翻訳についての考え方や自身の翻訳手法について述べたとおきの 100 の言葉を紹介。本人による「ボケツッコミ」も収録する。

2020:1./ 238p

978-4-7574-3394-6

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2020/07/12





### 性転師～「性転換ビジネス」に従事する日本人たち～

伊藤 元輝 著  
柏書房

性同一性障害の当事者に「早い・うまい・安い」のタイ・バンコクでの手術を斡旋、仲介する業者の面々。彼らはいったい何者なのか。なぜ彼らは生まれたのか。性転換ビジネスの陰の実力者「アテンド業」の実態に迫る迫真ルポ。

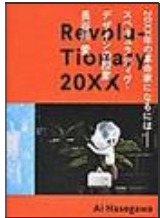
2020:5./ 266p

978-4-7601-5206-3

本体 ¥1,600+税



読売新聞 2020/07/12



### 20XX 年の革命家になるには～スペキュラティブ・デザインの授業～

塚田 有那 編  
長谷川 愛 著  
ビーエヌエヌ新社

一人ひとりの「夢」が未来を救う。社会を変革する手段と方法を、アートやデザインの発想から見出すことを目的とした大学講義を書籍化。書き込み式のワークシート、切り離せる「20XX 年の革命家カード」付き。

2020:1./ 191p

978-4-8025-1171-1

本体 ¥3,200+税



読売新聞 2020/07/12



### ビーズでたどるホモ・サピエンス史～美の起源に迫る～

池谷和信 編  
昭和堂

ビーズの素材や細工は地域や時代によって多種多様。そして富や威信、集団の象徴など社会的役割を担ってきた。ビーズの誕生した 12 万年前から現在まで、地球全域をフィールドに、ビーズを手がかりとして人類の歴史をたどる。

2020:4./ 11p,297p 図

版 8 枚

978-4-8122-1927-0

本体 ¥2,800+税



読売新聞 2020/07/12



### 牧野植物図鑑原図集～牧野図鑑の成立～

牧野図鑑刊行 80 年記念出版編集委員会、邑田 仁 編  
北隆館

1940 年に出版された「牧野日本植物図鑑」。その魅力はいかにして生み出されたのか。当時の植物学会の英知を結集した牧野図鑑の成り立ちを、門外不出の図版の数々によって解き明かす。

2020:4./ 504p

978-4-8326-1054-5

本体 ¥13,000+税



読売新聞 2020/07/12



### 怖い絵<泣く女篇>(角川文庫 な 50-3)

中野 京子 著  
角川書店

名画に秘められた人間心理の深淵―憎悪、残酷、嫉妬、絶望、狂気を鋭く読み解き、圧倒的な支持を得てロングセラー中の「怖い絵」シリーズ。書き下ろしを加筆してついに文庫化!

2011:7./ 253p

978-4-04-394002-8

本体 ¥680+税



読売新聞 2020/07/19



### ここは、おしまいの地(講談社文庫 こ 92-2)

こだま 著  
講談社

私はヤンキーと百姓が九割を占める集落で生まれ育った。洗練されたものがまるで見当たらない最果ての土地だった。見てきた景色や屈折した感情をありのまま綴った自伝的エッセイ。

2020:6./ 258p

978-4-06-520207-4

本体 ¥660+税



読売新聞 2020/07/19



### 香港デモ戦記(集英社新書 1021)

小川 善照 著

集英社

逃亡犯条例反対に端を発した香港デモは過激さを極め、混迷の度合いを深めている。オタク青年に少女たち。ブルース・リーの言葉「水になれ」を合い言葉に形を変え続ける、21世紀最大の市民運動の現場を活写する。

読売新聞 2020/07/19

2020:5./ 254p

978-4-08-721121-4

本体 ¥860+税



### 漱石を知っていますか(新潮文庫 あ-7-41)

阿刀田 高 著

新潮社

はっきり言って、小説は上手くない。じゃあ、なにが凄かったのか？ 夏目漱石の代表作 13 作品を例に、その創作技法から文章術、作者の心理、作品の完成度までを阿刀田節全開で平易に解説する。

読売新聞 2020/07/19

2020:7./ 472p

978-4-10-125541-5

本体 ¥750+税



### 画家とモデル〜宿命の出会い〜

中野 京子 著

新潮社

小人症の人々の威厳ある姿を描いたベラスケスの秘密、身分違いの女公爵への愛のメッセージを絵に潜ませたゴヤ…。名画に刻まれた描く者と描かれる者の知られざる関係を読み解く。カラー図版も収録。『芸術新潮』連載を書籍化。

読売新聞 2020/07/19

2020:3./ 190p

978-4-10-353231-6

本体 ¥1,750+税



### ヤバい選挙(新潮新書 864)

宮澤 暁 著

新潮社

「放送禁止用語」連呼の政見放送、「死んだ男」が立候補した都知事選、村民 200 人以上が一斉出馬した村長選…。その狙いは？ 有権者の判断は？ 屈指の選挙マニアが、半世紀分の資料から発掘した衝撃のエピソードを明かす。

読売新聞 2020/07/19

2020:6./ 207p

978-4-10-610864-8

本体 ¥740+税



### 雪の階

奥泉 光 著

中央公論新社

華族の娘・惟佐子は、親友・寿子の心中事件に疑問を抱き、新米カメラマンの千代子とともに謎を追いつめる。ふたりの前にさまざまな人物が現れ…。戦前昭和を舞台に描くミステリーロマン。『中央公論』連載を単行本化。

読売新聞 2020/07/19

2018:2./ 587p

978-4-12-005046-6

本体 ¥2,400+税



### リバタリアニズム〜アメリカを揺るがす自由至上主義〜(中公新書 2522)

渡辺 靖 著

中央公論新社

アメリカ社会で広がりつつあるリバタリアニズム(自由至上主義)。同性婚に賛成し銃規制には反対するなど、オバマにもトランプにも共感しない若い世代の実情を現地から報告する。『中央公論』連載を再構成のうえ加筆修正。

読売新聞 2020/07/19

2019:1./ 213p

978-4-12-102522-7

本体 ¥800+税





### 芭蕉(中公文庫 た 91-2)

高浜 虚子 著

中央公論新社

近代俳句の巨匠・高浜虚子が近世の巨人・松尾芭蕉の著作を論じる。芭蕉の句を談林風の句、主観句、客観句に分け、時間軸に沿った作風の変化を分析。芭蕉を通して自身の俳句観を語る。さらに芭蕉と門人の俳句を評釈する。

2020:6./ 264p

978-4-12-206898-8

本体 ¥900+税



読売新聞 2020/07/19



### 盆土産と十七の短篇(中公文庫 み 5-2)

三浦 哲郎 著

中央公論新社

えびフライ、と呟いてみた-。忘れ得ぬ一行で始まる「盆土産」ほか、「金色の朝」などの名短篇と、人生の哀歓を描いた佳篇による精選集。中学・高校の国語教科書に収録された作品を中心に選び、独自に編集したもの。

2020:6./ 250p

978-4-12-206901-5

本体 ¥860+税



読売新聞 2020/07/19



### 名画で読み解くハプスブルク家 12 の物語(光文社新書)

中野 京子 著

光文社

スイスの一豪族から大出世、偶然転がり込んだ神聖ローマ帝国皇帝の地位をバネに、以後約 650 年にわたって王朝として君臨したハプスブルク家。彼らを描いた名画に寄り添い、その波瀾万丈の物語をつむぐ。

2008:8./ 206p

978-4-334-03469-6

本体 ¥980+税



読売新聞 2020/07/19



### 心眼 柳家権太楼

柳家 権太楼 著

平凡社

あんま師・梅喜の薬師様への願掛けの思いが叶い、目が見えるようになると…。初代・三遊亭圓朝が生み出した名作「心眼」。古典落語の名人・柳家権太楼の口演の一部始終を、写真家・大森克己が写し取る。書き起こしも収録。

2020:3./ 115p

978-4-582-65410-3

本体 ¥3,900+税



読売新聞 2020/07/19



### 学校に行きたくない君へ～大先輩たちが語る生き方のヒント。～<続>

NPO法人全国不登校新聞社 編

ボプラ社

遠回りしたからこそ、得られるものがある-。不登校の若者たちが体当たりで取材した、谷川俊太郎をはじめとする人生の大先輩たち 17 名のインタビュー集第 2 弾。『不登校新聞』掲載記事を加筆修正し、マンガ等を加える。

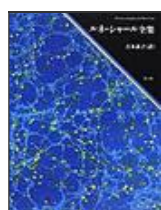
2020:7./ 269p

978-4-591-16728-1

本体 ¥1,400+税



読売新聞 2020/07/19



### ルネ・シャール全集

ルネ・シャール 著

青土社

フランスの代表的詩人ルネ・シャールがその思索と感性により、現代社会の危機的様相の実相を抉り出し、闇の中に希望の火を灯す豊饒で香り高い全集。全ての詩篇に加えて、ランボー、カミュに関する評論、戯曲等も収録。

2020:5./ 958p

978-4-7917-7263-6

本体 ¥12,000+税



読売新聞 2020/07/19



### コスモいくつかの世界(NATIONAL GEOGRAPHIC)

アン・ドルーヤン 著

日経ナショナルジオグラフィック社

これまで語られることのなかった、宇宙の真実を果敢に求めた人たちの物語を、美しいビジュアルとともに伝える。彼らの行跡や発見を通じて、私たちがいずれ目にするかもしれない輝かしい未来を描く。

2020:5./ 406p

978-4-86313-483-6

本体 ¥2,700+税



読売新聞 2020/07/19



### ウェブスター辞書あるいは英語をめぐる冒険

コーリー・スタンパー、鴻巣 友季子、竹内 要江、木下 眞穂、ラッシャー 貴子、手嶋 由美子、井口 富美子 著

左右社

“bitch”は侮蔑語か? アメリカで最も歴史ある辞書出版社、メリアム・ウェブスターの編集者が言葉の謎をとく。一語一語と向き合い、格闘する、知られざる辞書編纂の世界とその秘密を明かす。

2020:4./ 355p

978-4-86528-256-6

本体 ¥2,700+税



読売新聞 2020/07/19



### 汽水の匂いに包まれて～牡蛎養殖 100 年～

島山重篤 著

マガジンランド

「カキは外交官」「森が消えれば海も死ぬ」など、“カキじいさん”を自任する三陸牡蠣漁師が綴る徒然エッセイ。全国共済水産業協同組合連合会の機関誌、『漁協の共済』に連載された 20 年間の 110 編を収録する。

2020:5./ 455p

978-4-86546-260-9

本体 ¥1,500+税



読売新聞 2020/07/19



### 星に仄めかされて

多和田 葉子 著

講談社

留学中に「母国の島国」が消滅してしまった女性、Hiruko がつくり出した独自の言語<パンスカ>は、見知らぬ人々を結びつけ…。「地球にちりばめられて」に続く、国境を越えたサーガ第 2 部。『群像』連載を単行本化。

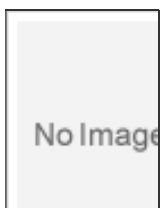
2020:5./ 342p

978-4-06-519029-6

本体 ¥1,800+税



読売新聞 2020/07/19、毎日新聞 2020/07/25



### 新編山と溪谷(岩波文庫 緑 142-1)

田部重治、近藤信行 著

岩波書店

数多くの読者を山に誘った我が国山岳文学の古典『山と溪谷』など、英文学者・登山家田部重治(1884-1972)の山の随筆・紀行文集から精選。

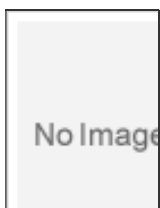
1993:8./ 323p

978-4-00-311421-6

本体 ¥740+税



読売新聞 2020/07/26



### 北槎聞略～大黒屋光太夫ロシア漂流記～(岩波文庫 青 456-1)

桂川甫周 著

岩波書店

本書は桂川甫周が幕命によって光太夫から聴取した聞書で、約 10 年に及ぶ漂民体験やロシア帝国の風俗・制度・言語等を驚くべき克明さで記録した第一級の漂流記である。

1990:10./ 484p

978-4-00-334561-0

本体 ¥1,200+税



読売新聞 2020/07/26





**八月の六日間(角川文庫 き 24-10)**

北村 薫 著

KADOKAWA

40 歳目前、文芸誌の副編集長をしているわたしは、日々の出来事に心を擦り減らしていた時、山の魅力に出会った。山登りは、わたしの心を開いてくれる。そんなある日、わたしは思いがけない知らせを耳にして…。

2016:6./ 322p

978-4-04-104217-5

本体 ¥640+税



読売新聞 2020/07/26



**ガリバー旅行記～こびとの国や巨人の国を冒険する物語～ (10 歳までに読みたい世界名作 4)**

ジョナサン・スウィフト、横山 洋子、芝田 勝茂、大塚 洋一郎 著

学研プラス

船に乗って、旅をすることが大好きなガリバー。ところが大嵐で船が転覆。流れついたところは、なんと、ふしぎな国! 予想外のことが次々に起こり、わくわくが止まらない冒険の物語。折り込みのお話図解「物語ナビ」付き。

2014:9./ 153p

978-4-05-204045-0

本体 ¥880+税



読売新聞 2020/07/26



**南の島のティオ(講談社青い鳥文庫 291-1)**

池澤 夏樹、スカイエマ 著

講談社

大きな大陸からずーっと遠く離れた、小さな南の島。受け取る人がかならず訪ねてくるという絵はがきをつくる「絵はがき屋さん」など、島に住む少年ティオが出会った不思議な出来事や人々の 10 のお話を紹介します。

2012:5./ 243p

978-4-06-285241-8

本体 ¥620+税



読売新聞 2020/07/26



**ONE PIECE novel LAW(JUMP J BOOKS)**

尾田 栄一郎／坂上 秋成 著

集英社

“北の海”スワロー島。コラソンと死に別れたローは九死に一生を得て、ベポ、シャチ、ペンギンと出会う。『ONE PIECE magazine』掲載の、ハートの海賊団結成までを描いたノベライズ。

2020:4./ 270p

978-4-08-703495-0

本体 ¥740+税



読売新聞 2020/07/26



**終わらざる夏<上>(集英社文庫 あ 36-18)**

浅田 次郎 著

集英社

1945 年、夏。片岡は 45 歳の兵役年限直前に赤紙を受け取る。何も分からぬまま、医師の菊池、歴戦の軍曹・鬼熊とともに北の地へ向かった。終戦直後の知られざる戦いを舞台に戦争の理不尽を描く歴史的大作。

2013:6./ 354p

978-4-08-745078-1

本体 ¥630+税



読売新聞 2020/07/26



**終わらざる夏<中>(集英社文庫 あ 36-19)**

浅田 次郎 著

集英社

片岡の一人息子・譲は、信州の集団疎開先で父親の召集を知り、東京を目指して歩き始めた。一方、片岡ら補充要員は、千島列島最東端の占守島へと向かう。そこに残されていたのは、無傷の帝国陸軍、最精鋭部隊だった…。

2013:6./ 326p

978-4-08-745079-8

本体 ¥630+税



読売新聞 2020/07/26



**終わらざる夏<下>(集英社文庫 あ 36-20)**

浅田 次郎 著  
集英社

1945 年 8 月 15 日、玉音放送。占守島では通訳要員である片岡らが、終戦交渉にや  
って来るであろう米軍の軍使を待ち受けていた。だが、島に残された日本軍が目にし  
たのは、中立条約を破棄して上陸してくるソ連軍の姿だった。

2013:6./ 374p

978-4-08-745080-4

本体 ¥630+税



読売新聞 2020/07/26



**氷壁 改版(新潮文庫)**

井上 靖 著  
新潮社

奥穂高に挑んだ小坂乙彦は、切れるはずのないザイルが切れて墜死した一恋愛と男  
同士の友情がドラマチックにくり広げられる長編。

2002:6./ 633p

978-4-10-106310-2

本体 ¥900+税



読売新聞 2020/07/26



**漂流 改版(新潮文庫)**

吉村 昭 著  
新潮社

読売新聞 2020/07/26

2008:12./ 516p

978-4-10-111708-9

本体 ¥800+税



**孤高の人<上> 改版(新潮文庫 くに-2-3)**

新田 次郎 著  
新潮社

強烈な意志と個性により、仕事においても独力で道を切り開き、高等小学校卒業の学  
歴で造船技師にまで昇格した加藤文太郎の、交錯する愛と孤独の青春を描く長編。

2009:8./ 503p

978-4-10-112203-8

本体 ¥790+税



読売新聞 2020/07/26



**孤高の人<下> 改版(新潮文庫 くに-2-4)**

新田 次郎 著  
新潮社

日本登山界に不滅の足跡を遺した文太郎の生涯を通じ“なぜ山に登るのか”の問い  
に鋭く迫った山岳小説屈指の力作である。

2009:8./ 488p

978-4-10-112204-5

本体 ¥800+税



読売新聞 2020/07/26



**八甲田山 死の彷徨 改版(新潮文庫)**

新田 次郎 著  
新潮社

神田大尉が率いる青森 5 聯隊は雪中で進退を協議しているとき、大隊長が突然“前  
進”の命令を下し、199 名の死者を出す。少数精鋭の徳島大尉が率いる弘前 31 聯隊  
は 210 余キロ、11 日間にわたる全行程を完全に踏破。

2002:3./ 331p

978-4-10-112214-4

本体 ¥630+税



読売新聞 2020/07/26



**鳥類学者だからって、鳥が好きだと思ふなよ。(新潮文庫 か-84-2)**

川上 和人 著

新潮社

鳥類学者、それは神に選ばれし存在-。出張先は火山にジャングル、無人島。血を吸うカラス、空飛ぶカタツムリ相手に奮闘し…。知られざる理系蛮族「鳥類学者」の著者が、抱腹絶倒、命がけの日々を綴る。

2020:7./ 278p

978-4-10-121512-9

本体 ¥590+税



読売新聞 2020/07/26



**老人と海(新潮文庫 へ-2-4)**

アーネスト・ヘミングウェイ 著

新潮社

84 日間の不漁に見舞われた老漁師は、ひとり小舟で海へ出た。やがてその釣網に、大物の手応えが。見たこともない巨大カジキとの死闘を繰り広げた老人に、海はさらなる試練を課すのだが…。世界文学の金字塔を新訳。

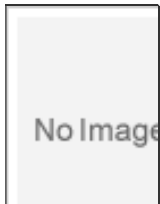
2020:7./ 191p

978-4-10-210018-9

本体 ¥490+税



読売新聞 2020/07/26



**日本百名山**

深田久弥 著

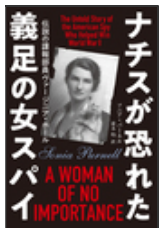
新潮社

読売新聞 2020/07/26

1991:7./ 4274p

978-4-10-318405-8

本体 ¥3,200+税



**ナチスが恐れた義足の女スパイ〜伝説の諜報部員ヴァージニア・ホール〜**

ソニア・パーネル 著

中央公論新社

障碍を抱えながら、アメリカ戦略事務局の特殊工作員として単身でナチス統治下のフランスに潜入し、第二次世界大戦を勝利に導いた敏腕女スパイ、ヴァージニア・ホールの物語。

2020:5./ 386p

978-4-12-005307-8

本体 ¥2,700+税



読売新聞 2020/07/26



**一人称単数**

村上 春樹 著

文芸春秋

世界は流れていく。物語が光景をとどめる-。表題作ほか「石のまくらに」「チャーリー・パーカー・プレイズ・ボサノヴァ」など 8 作を収録した短篇小説集。『文藝界』掲載に書き下ろしを加え単行本化。

2020:7./ 235p

978-4-16-391239-4

本体 ¥1,500+税



読売新聞 2020/07/26



**だれかのいいひと(文春文庫)**

角田 光代 著

文芸春秋

仕事も何となく続けているし、恋愛もいくつか経験した。将来も見えてきたような……そんな負け犬予備群が主役の珠玉の八篇を収録

2004:5./ 228p

978-4-16-767202-7

本体 ¥620+税



読売新聞 2020/07/26



**春を背負って(文春文庫 さ 41-4)**

笹本 稜平 著

文藝春秋

長嶺亨は脱サラをして父親の山小屋を継いだ。父をなくした OL、84 歳のクライマー...。この山小屋には、悩める人を再生する不思議な力があって。奥秩父の山小屋を舞台に描く山岳小説。2014 年 6 月公開映画の原作。

2014:3./ 361p

978-4-16-790047-2

本体 ¥590+税



読売新聞 2020/07/26



**水の中はいつだって大さわぎ～海と川の生物図鑑～**

大泉書店

水中の世界には、陸上の生物とは見た目も生き方もまったく異なる生物がたくさん暮らしている。でも、ちょっと見方を変えれば、案外身近な存在に感じるかも。海と川の生物の生態を、漫画を交えて紹介する。

2020:7./ 143p

978-4-278-08404-7

本体 ¥1,100+税



読売新聞 2020/07/26



**右向け~~~、左!!**

水森 亜土 著

河出書房新社

歌を歌いながら両手でお絵かきをする水森亜土。日本橋のたもとで生まれ育った亜土だからこそ知る、古き良き東京の魅力や、チャレンジ精神で駆け抜けた青春時代、歌手・画家・主婦として生きた日々を綴る。

2020:3./ 209p

978-4-309-02865-1

本体 ¥1,500+税



読売新聞 2020/07/26



**バッグをザックに持ち替えて(光文社文庫 ゆ 3-10)**

唯川 恵 著

光文社

浅間山から谷川岳、八ヶ岳そして富士山、ついにはエベレスト街道まで。何が楽しいのか? 辛いのにどうしてまた登ってしまうのか? 登山の魅力を、名手が描き尽くしたエッセイ集。

2020:7./ 219p

978-4-334-79053-0

本体 ¥600+税



読売新聞 2020/07/26



**椿と花水木～万次郎の生涯～<上>(幻冬舎文庫)**

津本 陽 著

幻冬舎

読売新聞 2020/07/26

2009:2./ 538p

978-4-344-41258-3

本体 ¥800+税



**椿と花水木～万次郎の生涯～<下>(幻冬舎文庫)**

津本 陽 著

幻冬舎

読売新聞 2020/07/26

2009:2./ 494p

978-4-344-41259-0

本体 ¥762+税







### マンガ認知症(ちくま新書 1500)

ニコ・ニコルソン、佐藤 眞一 著

筑摩書房

「お金を盗られた」と言うのはなぜ? 突然怒りは始めるのはどうして? 認知症の人の心の中をマンガを交えてわかりやすく解説する。読めば心がラクになる、現代人の必読書。『web ちくま』連載を新書化。

読売新聞 2020/07/26

2020:6./ 286p

978-4-480-07322-8

本体 ¥880+税



### ヤクザときどきピアノ

鈴木 智彦 著

CCCメディアハウス

校了明けに見た 1 本の映画が人生を変えた。雑誌に暴力団関連記事を寄稿する 52 歳のライターが、今度はピアノ教室に潜入?! 譜面も読めない「俺」が、舞台上で ABBA を演奏するまでの 1 年間を綴る。

読売新聞 2020/07/26

2020:4./ 169p

978-4-484-20207-5

本体 ¥1,500+税



### アジア遊学<248> 明治が歴史になったとき

佐藤 雄基 編

勉誠出版

日本近代史研究の先駆者である大久保利謙。その足跡を史学史・史料論・蔵書論の観点を変え検証し、日本近代史研究の誕生の瞬間を描き出す。

読売新聞 2020/07/26

2020:6./ 233p

978-4-585-22714-4

本体 ¥2,800+税



### 鈴木家の?

野尻 克己 著

ポプラ社

引きこもりの鈴木家の長男・浩一がこの世を去った。母の悠子はショックで意識を失い、意識を取り戻した時には浩一の死の記憶を失っていて…。死と向き合い、生きることを模索する家族の姿を描く。同名映画を監督自らが小説化。

読売新聞 2020/07/26

2020:6./ 313p

978-4-591-16666-6

本体 ¥1,600+税



### 新編風雪のビヴァーク(ヤマケイ文庫)

松涛 明 著

山と溪谷社

読売新聞 2020/07/26

2010:11./ 389p

978-4-635-04726-5

本体 ¥1,000+税



### 新編越後三面山人(やまんど)記〜マタギの自然観に習う〜(ヤマケイ文庫)

田口 洋美 著

山と溪谷社

羽越地方を代表するマタギ集落としてその名を馳せた、今はなき新潟県三面集落に長期滞在した記録をもとに、山での四季の暮らしを生き生きと描き、自然と村人の関係のあり方を考察する。

読売新聞 2020/07/26

2016:3./ 381p

978-4-635-04790-6

本体 ¥950+税







### 時のきざし〜現代中華 SF 傑作選〜

立原 透耶 編

江 波／何 夕 著

新紀元社

中国語文化圏 SF の「いま」を伝えるアンソロジー。眉村卓に比肩する王晋康の「七重の SHELL」、風刺が効いた掌編を綴る韓松の「地下鉄の驚くべき変容」など、全 17 編を収録する。

2020:6./ 477p

978-4-7753-1828-7

本体 ¥2,200+税



読売新聞 2020/07/26



### クマよ(たくさんのふしぎ傑作集)

星野 道夫 著

福音館書店

アラスカの大自然のまっただ中に身を置き、悠久の時のかなたから響く声に耳をすまし、闇にひそむ動物たちの鼓動にわが身の鼓動を重ね、凜とした言葉と永遠の今を捉えた映像を集めた写真集。98 年刊の再刊。

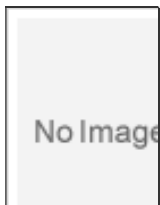
1999:10./ 35p

978-4-8340-1638-3

本体 ¥1,300+税



読売新聞 2020/07/26



### ジョン万次郎漂流記〜運命へ向けて船出する人〜(海外渡航記叢書 5)

エミリー・V.ワリナー 著

丸善雄松堂

読売新聞 2020/07/26

1991:12./ 350p

978-4-8419-0119-1

本体 ¥5,000+税



### グローバルヒストリーから考える新しい大学歴史教育〜日本史と世界史のあいだで〜(阪大リーブル 72)

秋田 茂、桃木 至朗 著

大阪大学出版会

世界史と日本史の研究成果の接合・融合は、どのような形で可能になるのか。具体的な事例研究を通じて、事例をわかりやすく提示する。大阪大学大学院文学研究科と国際公共政策研究科の共同授業から生み出された論集。

2020:3./ 350p

978-4-87259-640-3

本体 ¥2,300+税



読売新聞 2020/07/26



### ロシア万華鏡〜社会・文学・芸術〜(五柳叢書 109)

沼野 恭子 著

五柳書院

ロシアの風土に生きる人々の暮らし、笑い、活力、そして懐しさ。東京外国語大学教授・沼野恭子が 2007 年よりおよそ 10 年間に書き溜めたロシアに関する文章をまとめる。「社会編」「文学編」「芸術編」で構成。

2020:3./ 406p

978-4-901646-36-9

本体 ¥2,800+税



読売新聞 2020/07/26



### 本のエンドロール

安藤 祐介 著

講談社

印刷会社の営業・浦本学は就職説明会で言った。「印刷会社はメーカーです」営業、工場作業員、DTP オペレーター、デザイナー…。印刷会社全面協力のもと、奥付には載らない本造りの裏方たちを描いたお仕事小説。

2018:3./ 381p

978-4-06-220988-5

本体 ¥1,650+税



日本経済新聞 2020/07/04



### 土方歳三がゆく〜時代小説傑作選〜(集英社文庫 ほ 16-12)

細谷 正充 編

集英社

新選組「鬼の副長」土方歳三。試衛館入門から盟友・近藤勇との別離、箱館戦争で壮烈な戦死を遂げるまでの軌跡を、6 人の実力派作家の作品で明らかにする。これまでの土方像をくつがえす時代小説アンソロジー。

2020:5./ 267p

978-4-08-744114-7

本体 ¥580+税



日本経済新聞 2020/07/04



### 江戸の夢びらき

松井 今朝子 著

文藝春秋

荒事の開祖にして、最後は舞台上で刺殺されたカリスマ。信仰に近い人気を得て、今なお愛される名演目と斬新な演出を生み出した不世出の天才。謎多き初代市川團十郎の生涯を、元禄の狂乱と江戸歌舞伎の胎動とともに描き切る。

2020:4./ 351p

978-4-16-391196-0

本体 ¥1,900+税



日本経済新聞 2020/07/04



### 今日のわたしは、だれ?〜認知症とともに生きる〜

ウェンディ・ミッチェル 著

筑摩書房

58 歳で若年性アルツハイマーの診断を受けた。しだいに失われていく記憶。見知ったはずの世界が、突如知らないものになる恐怖に怯えながらも、残された理性と工夫で、病気を出し抜こうとし…。当事者が綴る認知症のリアル。

2020:3./ 282p

978-4-480-86090-3

本体 ¥2,000+税



日本経済新聞 2020/07/04



### SONY の旋律(私の履歴書)

大賀 典雄 著

日本経済新聞出版社

創業者に請われ、音楽家から転身した異能の経営者・大賀典雄。トランジスタラジオのソニーをスタイリッシュな企業に変貌させた立役者が、50 年にわたる「ソニー人生」を綴る。

2003:5./ 274p

978-4-532-31050-9

本体 ¥1,400+税



日本経済新聞 2020/07/04



### 独裁者が変えた世界史<上>

オリヴィエ・ゲズ 編

神田 順子／清水 珠代 著

原書房

レーニン、ムッソリーニ、スターリン、ヒトラー、フランコ、東條英機、三代の金(キム)、毛沢東…。20 世紀の独裁を理解するうえで有益な人物を選び、徹底的な調査をもとに、彼らの肖像を描く。見返しに地図あり。

2020:3./ 4p,330p

978-4-562-05749-8

本体 ¥2,200+税



日本経済新聞 2020/07/04





### 独裁者が変えた世界史<下>

オリヴィエ・ゲズ 編

神田 順子／田辺 希久子 著

原書房

カストロ、カダフィ、ホーネッカー、ポル・ポト、ホメイニー…。20 世紀の独裁を理解するうえで有益な人物を選び、徹底的な調査をもとに、彼らの肖像を描く。解説付きの詳細な独裁者年表も収録。見返しに地図あり。

2020:3./ 4p,335p

978-4-562-05750-4

本体 ¥2,200+税



日本経済新聞 2020/07/04



### 闘う純米酒～神亀ひこ孫物語～ 新版(平凡社ライブラリー 771)

上野 敏彦 著

平凡社

醸造用アルコールが添加された酒が、今なお主流の座を占めるなか、「酒は純米酒」を決意して立ち上がった酒蔵がある。埼玉県蓮田市の小さな蔵元、神亀酒造の 4 半世紀に及ぶ芳醇な夢と闘いの記録。

2012:9./ 313p

978-4-582-76771-1

本体 ¥1,300+税



日本経済新聞 2020/07/04



### 耽酒妄言～枯骨閑人文酒閑話～

沓掛 良彦 著

平凡社

我が国屈指のポリグロットでありかつ最後の学匠詩人たる著者による、文学と酒にまつわる蘊蓄と諧謔。「一休和尚という人」「読書という不幸」「研究室とシュンボシオン」「字の巧拙」などを収録する。

2020:4./ 271p

978-4-582-83836-7

本体 ¥4,500+税



日本経済新聞 2020/07/04



### 金正恩の実像～世界を翻弄する独裁者～

アンナ・ファイフィールド 著

扶桑社

金正恩について知るべきことをすべて知りたかった。著者は、金正恩に会ったことがある人全員に話を聞き、最も謎に包まれた国家指導者の手がかりを探すことにした。数百時間に及ぶインタビューをもとに、その素顔を描く。

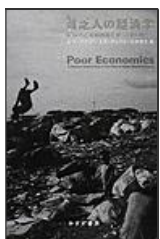
2020:5./ 471p

978-4-594-08462-2

本体 ¥2,000+税



日本経済新聞 2020/07/04



### 貧乏人の経済学～もういちど貧困問題を根っこから考える～

アビジット・V.バナジー、エスター・デュフロ 著

みすず書房

貧乏な人の暮らしや選択が、世界の貧困と戦う方法について教えてくれる。食糧、医療、教育、家族、マイクロ融資、貯蓄…。ランダム化対照試行(社会実験)が着実な解を与える開発経済学の新天地。

2012:3./ 370p,32p

978-4-622-07651-3

本体 ¥3,000+税



日本経済新聞 2020/07/04



### 学問としての翻訳～『季刊翻訳』『翻訳の世界』とその時代～

佐藤＝ロスベアグ・ナナ 著

みすず書房

忘れられた専門誌『季刊翻訳』、次いで思想界にひとときわ輝きを放った『翻訳の世界』。2 誌の翻訳言説を追い、ポストモダンの知的地層を再発見。翻訳家・編集者 9 人にもインタビュー。1970?90 年代の光景を甦らせる。

2020:4./ 205p,11p

978-4-622-08899-8

本体 ¥4,500+税



日本経済新聞 2020/07/04



### コロナの衝撃～感染爆発で世界はどうなる?～(ディスカヴァー携書 221)

小原 雅博 著

ディスカヴァー・トゥエンティワン

2019 年 12 月に中国武漢で確認され、翌年の 3 月には世界的に大流行するパンデミックとなった新型コロナウイルス。感染症危機に揺さぶられる政治・経済・外交の動きを中心に、「複合危機」について論じる。

日本経済新聞 2020/07/04

2020:5./ 235p

978-4-7993-2613-8

本体 ¥1,000+税



### カレンの台所

滝沢 カレン 著

サンクチュアリ・パブリッシング(サンクチュアリ出版)

冷たい何も知らない鶏肉に、お?油を全員に気付かれるくらいの量を、無邪気にこんちくしょうと混ぜてください。鶏の唐揚げをはじめ、ハンバーグ、しょうまいなどの作り方を、物語のように綴った超感覚レシピ本。

日本経済新聞 2020/07/04

2020:4./ 135p

978-4-8014-0075-7

本体 ¥1,400+税



### デジタル×地方が牽引する 2030 年日本の針路

江川 昌史／藤井 篤之 著

日経BP社

QoL エコノミーの台頭で、地方の価値が解き放たれる!「ソサエティ 5・0」という政府が掲げる理念を具現化する中で、いかに地方社会、ひいては日本全体が再び輝きを取り戻せるのかについて述べる。

日本経済新聞 2020/07/04

2020:6./ 244p

978-4-8222-8888-4

本体 ¥1,600+税



### 白人ナショナリズム～アメリカを揺るがす「文化的反動」～(中公新書 2591)

渡辺 靖 著

中央公論新社

トランプ政権の誕生以降、白人至上主義と自国第一主義が結び付いた「白人ナショナリズム」が広がるアメリカ。社会の分断が深まるなか、自由主義の盟主はどこへ行くのか。草の根のリアルな動向を現地から報告する。

日本経済新聞 2020/07/04、朝日新聞 2020/07/11、読売新聞 2020/07/19

2020:5./ 212p

978-4-12-102591-3

本体 ¥800+税



### 5G～次世代移動通信規格の可能性～(岩波新書 新赤版 1831)

森川 博之 著

岩波書店

第 5 世代移動通信システム(規格)5G。その技術的特徴・潜在力はどこにあるのか。私たちの生活はどう変わるか。どう使えばよいか。米中の激しい主導権争いの深層には何があるのか。第一人者がさまざまな疑問に答える。

日本経済新聞 2020/07/11

2020:4./ 5p,249p

978-4-00-431831-6

本体 ¥860+税



### きみのまちに未来はあるか?～「根っこ」から地域をつくる～(岩波ジュニア新書 915)

除本 理史、佐無田 光 著

岩波書店

地域づくりに必要なものとは? 開発や観光地化ではなく、その土地にある美しい自然やまちなみ、伝統などの宝物=「根っこ」を育ててきた各地の地域づくりの事例や、「地域と関わる」という新しいライフスタイルを紹介する。

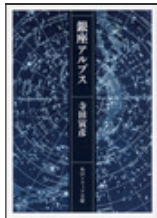
日本経済新聞 2020/07/11

2020:3./ 15p,200p

978-4-00-500915-2

本体 ¥860+税





**銀座アルプス(角川ソフィア文庫 L117-2)**

寺田 寅彦 著

KADOKAWA

近代文学史に輝く科学随筆の名手による短文の傑作選。表題作および「電車と風呂」「鼠と猫」「石油ランプ」「流言蜚語」「病院風景」など、写生文を始めた頃から昭和8年まで、寺田寅彦の鳥瞰図ともいえるべき30篇を収録する。

2020:5./ 374p

978-4-04-400585-6

本体 ¥840+税



日本経済新聞 2020/07/11



**またね家族**

松居 大悟 著

講談社

小劇団を主宰する僕のもとに、父から連絡があった。余命3カ月だという。周囲を取り巻く環境が目まぐるしく変わる中、僕は故郷の福岡と東京を行き来しながら、自分と「家族」を見つめなおしていく。

2020:5./ 332p

978-4-06-518291-8

本体 ¥1,650+税



日本経済新聞 2020/07/11



**月の客**

山下 澄人 著

集英社

一気に読みできる本のように、一望して見渡せる生など、ない。「境界のない目」を持ち、犬に寄り添われながら、無情な世界を生きる少年トシの生涯を、ユニークな文体で追いかける。『すばる』掲載を書籍化。

2020:6./ 186p

978-4-08-771713-6

本体 ¥1,700+税



日本経済新聞 2020/07/11



**激甚気象はなぜ起こる(新潮選書)**

坪木 和久 著

新潮社

豪雨、台風、猛暑、豪雪。気象庁が「命にかかわる非常事態」と表現する激甚気象はなぜ起こるのか? 列島の「空」で何が起きているのか? 気象学の第一人者が最新の研究結果をもとに解き明かす。

2020:5./ 398p

978-4-10-603856-3

本体 ¥1,600+税



日本経済新聞 2020/07/11



**ビザンツ帝国~千年の興亡と皇帝たち~(中公新書 2595)**

中谷 功治 著

中央公論新社

千年以上にわたる歴史を刻んだビザンツ帝国。ローマ帝国の継承、コンスタンティノープルの繁栄、イスラムの進出、十字軍の登場、そして滅亡へ…。波瀾万丈の軌跡をたどり、この帝国の内実を描き出す。

2020:6./ 6p,304p

978-4-12-102595-1

本体 ¥940+税



日本経済新聞 2020/07/11



**観光亡国論(中公新書ラクレ 650)**

アレックス・カー、清野 由美 著

中央公論新社

増加する訪日外国人観光客。京都をはじめ観光地にはキャパシティを超える人が殺到し、交通や景観、住環境などでトラブルが続発している。真の観光立国を果たすべく建設的な解決策を、世界の事例を盛り込みながら検討する。

2019:3./ 220p

978-4-12-150650-4

本体 ¥820+税



日本経済新聞 2020/07/11



## 蜂起<インティファダ>〜占領下のパレスチナ 1967-1993〜

鈴木 啓之 著  
東京大学出版会

1987 年にパレスチナでなぜイスラエルに対する民衆蜂起(インティファダ)が起きたのか? パレスチナ人の抵抗の歴史と蜂起の背後にあった構造的な変化を、豊富な資料をもとにスリリングに描き出す。

2020:3./  
5p,282p,115p  
978-4-13-036301-3  
本体 ¥5,800+税  
\* 9 7 8 4 1 3 0 3 6 3 0 1 3 \*

日本経済新聞 2020/07/11



## ラマレラ最後のクジラの民

ダグ・ボック・クラーク 著  
NHK出版

伝統捕鯨に生きる、インドネシア・ラマレラの民。近代化の波が押し寄せる中、祖先から引き継いだ暮らしを守るべきか、変化を受け入れるべきか、村人の心は揺れる。伝統の危機にある希少文化のいまを描いたルポルタージュ。

2020:5./ 477p 図版  
16p  
978-4-14-081819-0  
本体 ¥3,000+税  
\* 9 7 8 4 1 4 0 8 1 8 1 9 0 \*

日本経済新聞 2020/07/11



## 太陽の黄金(きん)の林檎(はやカワ文庫 NV)

レイ・ブラッドベリ 著  
早川書房

日本経済新聞 2020/07/11

2006:2./ 405p  
978-4-15-041107-7  
本体 ¥800+税  
\* 9 7 8 4 1 5 0 4 1 1 0 7 7 \*



## 災害の倫理〜災害時の自助・共助・公助を考える〜

ナオミ・ザック 著  
勁草書房

命にかかわる災害時、誰が、どのような行動をとるべきなのか。地震・ハリケーン・テロ・感染症などの具体例を元に、功利主義、義務論、徳倫理など倫理学の観点から人々の行動のあり方について検討する。

2020:4./ 49p,269p,7p  
978-4-326-15465-4  
本体 ¥3,200+税  
\* 9 7 8 4 3 2 6 1 5 4 6 5 4 \*

日本経済新聞 2020/07/11



## 戦略の創造学〜ドロッカーで気づきデザイン思考で創造しポーターで戦略を実行する〜

山脇 秀樹 著  
東洋経済新報社

デザイン思考、ピーター・ドロッカーのマネジメント、競争戦略。それぞれの本質を紡ぐと糸になり、織ると普遍的な戦略モデルのキャンバスとなる。欧米ビジネススクールで初の日本人学長による、イノベーションのための戦略論。

2020:4./ 267p  
978-4-492-53423-6  
本体 ¥1,800+税  
\* 9 7 8 4 4 9 2 5 3 4 2 3 6 \*

日本経済新聞 2020/07/11



## 共感経営〜「物語り戦略」で輝く現場〜

野中 郁次郎/勝見 明 著  
日本経済新聞出版社

成功の共通項は「共感」。企業経営や事業におけるイノベーションや大きな成功は、論理や分析ではなく、「共感→本質直感→跳ぶ仮説」というプロセスにより実現されることを、9つのケースと3つの参考事例で解説する。

2020:5./ 284p  
978-4-532-32337-0  
本体 ¥1,800+税  
\* 9 7 8 4 5 3 2 3 2 3 3 7 0 \*

日本経済新聞 2020/07/11





### 虫とゴリラ

養老 孟司／山極 寿一 著

毎日新聞出版

人間以外の自然とも感動を分かち合う生き方を求めていると、崩壊の危機にある地球も、ディストピアに陥りかけている人類も救うことができる。解剖学者と霊長類学者が、日本の未来像を語りつくす。

2020:6./ 234p

978-4-620-32580-4

本体 ¥1,500+税



日本経済新聞 2020/07/11



### 世界のコンパクトシティ～都市を賢く縮退するしくみと効果～

谷口 守、片山 健介、斉田 英子、高見 淳史、松中 亮治、氏原 岳人、藤井 さやか、堤 純 著

学芸出版社

なぜ、海外の都市は、コンパクトで暮らしやすく、経済成長できるのか。アムステルダム、ベルリン、トロント、メルボルンなど 7 都市の特徴的な政策を解説し、日本におけるコンパクトシティの課題と解決策を考える。

2019:12./ 250p

978-4-7615-2725-9

本体 ¥2,700+税



日本経済新聞 2020/07/11



### ヨーロッパ全史

サイモン・ジェンキンズ 著

青土社

「ヨーロッパ」とはいったい何なのか。国家の歴史としてではなく、ヨーロッパという「大陸」の歴史を、人物と出来事を中心に独自の視点からつむぎあげる、発見と驚きに満ちた壮大な一冊。

2020:4./ 476p,26p 図

版 32p

978-4-7917-7268-1

本体 ¥4,200+税



日本経済新聞 2020/07/11



### 半農半林で暮らしを立てる～資金ゼロからの I ターン田舎暮らし入門～

市井晴也 著

築地書館

米作りで分かったこと分からないこと、森林組合の仕事、にわか大工の奮闘…。新潟の森林組合に飛び込んで、炭焼きを始めて 25 年。米作りと魚沼杉の育成・生産で山村生活を送る著者が、4 月から 3 月までの月ごとの生活を綴る。

2020:3./ 203p

978-4-8067-1595-5

本体 ¥1,800+税



日本経済新聞 2020/07/11



### 日本人とインド人～世界市場「最後の成長エンジン」の真実～

グルチャラン・ダス／野地 秩嘉 著

プレジデント社

インドの作家、戯曲家、歴史家、哲学者、教育者であり、ハーバード大卒のビジネスマン。「インドの福澤諭吉」と呼ばれる著者が、今後のインド人との働き方、稼ぎ方、付き合い方を明かす。

2020:5./ 194p

978-4-8334-2363-2

本体 ¥1,600+税



日本経済新聞 2020/07/11



### 贖罪～ナチス副総統ルドルフ・ヘスの戦争～

吉田 喜重 著

文藝春秋

ソ連侵攻を抑えた 1941 年 5 月 10 日、ヒトラーの代理人ヘスは、イギリスとの講和工作のためスコットランドへ。しかしそれを知ったヒトラーは激怒し、チャーチルはとりあわず…。ナチス副総統ヘスの生涯を描く歴史大作小説。

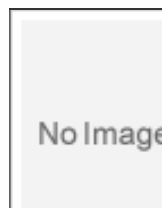
2020:4./ 349p

978-4-16-391099-4

本体 ¥3,000+税



日本経済新聞 2020/07/11、読売新聞 2020/07/12



**ドリトル先生アフリカゆき 改版(岩波少年文庫)**

ヒュー・ロフティン グ 著

岩波書店

日本経済新聞 2020/07/18

1986:11./ 228p

978-4-00-111021-0

本体 ¥600+税



**ジェノサイド**

高野 和明 著

角川グループパブリッシング

急死したはずの父親から送られてきたメール。創薬化学専攻の大学院生・研人はその遺書を手掛かりに、私設実験室に辿り着く。一方、傭兵のイエーガーは「人類全体に奉仕する仕事」を引き受けるが…。『野性時代』連載を書籍化。

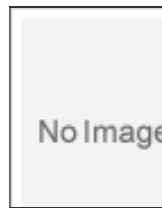
2011:3./ 590p

978-4-04-874183-5

本体 ¥1,800+税



日本経済新聞 2020/07/18



**大人の流儀**

伊集院 静 著

講談社

人を叱らなければならないとき、とてつもない悲しみに包まれたとき…。こんなとき、大人ならどう考え、どう振舞うのだろう。日々の思いをつづったエッセイ集。『週刊現代』2009?2011 年連載を抜粋、修正して単行本化。

2011:3./ 189p

978-4-06-216942-4

本体 ¥933+税



日本経済新聞 2020/07/18



**仕事と心の流儀(講談社現代新書 2508)**

丹羽 宇一郎 著

講談社

問題が多いことを喜べ。それは懸命に生きている証だ-。ビジネスの現場で幾多の修羅場を乗り越えてきた著者が、日々懸命に奮闘するすべての人に向け、働くことの本質を語る。

2019:1./ 219p

978-4-06-514621-7

本体 ¥860+税



日本経済新聞 2020/07/18



**山に立つ神と仏～柱立てと懸造の心性史～(講談社選書メチエ 727)**

松崎 照明 著

講談社

神を祀り天地の通路を探った古代人の憧憬は、高く太い柱を求め、さらに神仏の近くへと山に分け入った。岩、窟、湧水に神仏を感じ霊験を求める日本人。形としての山岳建築から、浄所への畏敬と崇拜の心性を読み解く。

2020:5./ 281p

978-4-06-519899-5

本体 ¥1,950+税



日本経済新聞 2020/07/18



**ロシア正教の千年(講談社学術文庫 2617)**

廣岡 正久 著

講談社

同じキリスト教を共有しながら、西欧とは別の歴史を歩んできたロシア。時に熾烈な迫害を受け、時にロシア民族主義を鼓吹して、人々の精神的支柱となってきたロシア正教会の歴史を、政治と社会の流れの中で捉えた労作。

2020:7./ 275p

978-4-06-520050-6

本体 ¥1,110+税



日本経済新聞 2020/07/18



**点と線 改版(新潮文庫)**

松本 清張 著  
新潮社

列車時刻表を駆使したリアリスティックな状況設定で推理小説界に“社会派”の新風を吹きこみ、空前の推理小説ブームを呼んだ秀作。

日本経済新聞 2020/07/18

2003:5./ 262p

978-4-10-110918-3

本体 ¥550+税



**礼儀作法入門<続>(新潮文庫)**

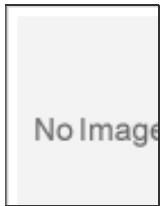
山口 瞳 著  
新潮社

日本経済新聞 2020/07/18

2003:1./ 238p

978-4-10-111131-5

本体 ¥400+税



**物語韓国史(中公新書)**

金 両基 著  
中央公論新社

日本経済新聞 2020/07/18

2001:6./ 293p

978-4-12-100925-8

本体 ¥760+税



**アンドロメダ病原体-変異-<上>**

マイクル・クライトン／ダニエル・H・ウィルソン 著  
早川書房

正体不明の病原体を封じ込め、人類絶滅の危機を乗り越えてから 50 年。その再来を監視する永続的な警戒システムは、アマゾンの密林奥に異常を検出。それはあの「病原体」と同じ科学的特徴を持っていて…。遺族公認の公式続篇。

日本経済新聞 2020/07/18

2020:5./ 269p

978-4-15-209936-5

本体 ¥1,800+税



**アンドロメダ病原体-変異-<下>**

マイクル・クライトン／ダニエル・H・ウィルソン 著  
早川書房

アマゾン奥地で無数のホエザルの死体を検分し、未接触部族の襲撃から逃れた調査隊のメンバーは、ついに怪現象の発見現場に到達する。そこには、見たこともない形状と性質を持つ漆黒の大構造物が…。遺族公認の公式続篇。

日本経済新聞 2020/07/18

2020:5./ 270p

978-4-15-209937-2

本体 ¥1,800+税



**三体<2[上]> 黒暗森林**

劉 慈欣 著  
早川書房

人類に絶望した天体物理学者・葉文潔が宇宙に向けて発信したメッセージは、三つの太陽を持つ異星文明・三体世界に届いた。新天地を求める三体文明は、千隻を超える侵略艦隊を組織し、地球へと送り出し…。

日本経済新聞 2020/07/18

2020:6./ 335p

978-4-15-209948-8

本体 ¥1,700+税





### 三体<2[下]> 黑暗森林

劉 慈欣 著

早川書房

刻一刻と太陽系に迫りつつある、三体世界の巨大艦隊。地球文明をはるかに超える技術を持つ侵略者に対抗する最後の希望は、4 人の面壁者だった。かれらは自らの専門分野の知識を駆使し、命がけの頭脳戦に身を投じるが...

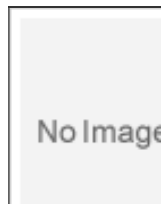
2020:6./ 348p

978-4-15-209949-5

本体 ¥1,700+税



日本経済新聞 2020/07/18



### 地と模様を超えるもの～趙治勲の囲碁世界～

趙 治勲 著

河出書房新社

最強者の情熱の源泉、強靱さの秘密とは?「碁が弱い、才がない」これがスタートラインと言う著者が、棋風の形成、形勢判断が苦手な理由、先人とライバル達など、名人・棋聖の囲碁観を本音で語る。

1999:10./ 177p

978-4-309-26390-8

本体 ¥1,500+税



日本経済新聞 2020/07/18



### 世界哲学史<7> 近代(ちくま新書 1466)

伊藤 邦武、山内 志朗、中島 隆博、納富 信留 編

筑摩書房

古代から現代まで世界哲学史を一覧する。7 は、19 世紀の哲学を扱う。旧制度からの解放を求めた 19 世紀の「自由の哲学」とは何か。欧米やインド、日本などでの知的営為を俯瞰し、自由の意味についての哲学的探究を渉猟する。

2020:7./ 281p,21p

978-4-480-07297-9

本体 ¥920+税



日本経済新聞 2020/07/18



### マイホームの彼方に～住宅政策の戦後史をどう読むか～

平山 洋介 著

筑摩書房

持ち家社会は持続可能なかどうか、そして、住宅と社会の関係の将来をどのように想像し、どの方向に向けるべきか。戦後日本の持ち家社会において住宅システムの政策・制度がどのような役割をはたしてきたのかを検討する。

2020:3./ 368p,8p

978-4-480-87909-7

本体 ¥2,900+税



日本経済新聞 2020/07/18



### ADAPTIVE MARKETS 適応的市場仮説～危機の時代の金融常識～

アンドリュー・W・ロー 著

東洋経済新報社

金融市場は経済法則では動かない。金融市場は人間の進化の産物であり、むしろ生物学の法則で動く。気鋭の経済学者が、社会生物学、進化心理学などを応用した金融の新理論「適応的市場仮説」を提唱する。

2020:5./

11p,618p,71p

978-4-492-65489-7

本体 ¥4,500+税



日本経済新聞 2020/07/18



### まともじゃない動物たち～個性と進化の謎を解く～

ジョン・A・シヴィック 著

原書房

クールなネコと愛嬌たっぷりのネコ。なぜ性格が違う? そもそも動物の個性とはなにか? 動物の性格研究に野生生物学者が挑み、動物の個性と進化の驚くべき関係を楽しく読み解く。

2020:5./ 255p

978-4-562-05764-1

本体 ¥2,400+税



日本経済新聞 2020/07/18





### コロンブスの図書館

エドワード ウィルソン リー 著  
柏書房

1539 年、セビーリャ。世界最高の図書館をつくりあげたのはコロンブスの息子だった。ルネサンス、宗教改革、大航海時代の最前線で世界のありとあらゆる情報を目録化しようと試みたエルナンド・コロンの人生を追う。

日本経済新聞 2020/07/18

2020:4./ 415p  
978-4-7601-5090-8  
本体 ¥2,700+税



### 宇宙と安全保障～軍事利用の潮流とガバナンスの模索～

福島 康仁 著  
千倉書房

スペース・パワー論を手がかりに、宇宙の軍事利用の潮流を明らかにするとともに、安定的な宇宙利用を維持するためのガバナンスのあり方を分析。軍事宇宙利用と宇宙ガバナンスの今後と、日本の宇宙政策への示唆を論じる。

日本経済新聞 2020/07/18

2020:4./ 13p,243p  
978-4-8051-1204-5  
本体 ¥3,500+税



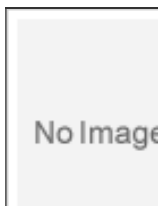
### うたうおばけ

くどうれいん 著  
書肆侃侃房

失恋してラーメン屋に喪服でやってきたミオ、「ビニニでもバナナ」と大発見したのんちゃんとうーきちゃん…。個性的な「ともだち」が登場する、東北の小さな歌人のエッセイ集。『web 侃侃め』連載他を書籍化。

日本経済新聞 2020/07/18

2020:4./ 189p  
978-4-86385-398-0  
本体 ¥1,400+税



### バンクシー～壁に隠れた男の正体～

ウィル・エルスワース＝ジョーンズ 著  
PARCO出版

アウトローからアーティストへ昇りつめたバンクシー。身を隠しながら、自分自身の物語を守り続けて活動する彼の軌跡を追う。緻密な取材で人物像を浮き彫りにした貴重なルポルタージュ。

日本経済新聞 2020/07/18

2020:6./ 481p  
978-4-86506-334-9  
本体 ¥2,000+税



### 女子学生はどう闘ってきたのか

小林哲夫 著  
サイゾー

女子学生は社会とどう向き合い、理不尽とどう闘ってきたか。大学生活、課外活動、社会運動、学生運動、メディアでの発信、ミスコンや読者モデル、芸能活動など、女子学生を様々な角度から追い、その被差別の歴史を集大成。

日本経済新聞 2020/07/18

2020:5./ 342p  
978-4-86625-128-8  
本体 ¥1,800+税



### SDGs 投資～資産運用しながら社会貢献～(朝日新書 764)

洪澤健 著  
朝日新聞出版

SDGs(持続可能な開発目標)とは、世界サイズの「リスク回避」である。先人の教えを活かしながら、「共感・共助・共創」をキーワードに、21 世紀のサステナブルな投資をわかりやすく紹介する。

日本経済新聞 2020/07/25

2020:5./ 241p  
978-4-02-295070-3  
本体 ¥810+税





### いまこそ「小松左京」を読み直す(NHK 出版新書 629)

宮崎 哲弥 著

NHK出版

大規模自然災害、ウイルス・パンデミック、科学技術の進歩と限界…。驚くべき精度で「現在」を予見した SF 作家・小松左京。「日本沈没」をはじめとする代表作を読み解きながら、戦後最大の知識人の洞察の淵源を探る。

日本経済新聞 2020/07/25

2020:7./ 285p

978-4-14-088629-8

本体 ¥900+税



### アフターコロナ～見えてきた7つのメガトレンド～(日経 BP ムック)

日経クロステック 編

日経BP社

新型コロナウイルスが過ぎ去った後、既存秩序は崩れ、ビジネスの常識は上書きされていく。30 人以上のキーパーソンへのインタビューと、徹底した現地取材によって、「アフターコロナ」の全貌を浮き彫りにする。

日本経済新聞 2020/07/25

2020:6./ 187p

978-4-296-10682-0

本体 ¥1,800+税



### 思想としての<新型コロナウイルス禍>

河出書房新社編集部 編

河出書房新社

新型コロナウイルス禍による危機は、人類に何を問うているのか。この破局に、どう向かいあうべきか。社会学者、医学者らの論考や、病理学者、美術批評家らのインタビュー、舞踏家のエッセイなどを収録する。

日本経済新聞 2020/07/25

2020:5./ 3p,207p

978-4-309-24966-7

本体 ¥1,800+税



### アトリエインカーブ物語～アートと福祉で社会を動かす～(河出文庫 い 43-1)

今中 博之 著

河出書房新社

知的に障がいのあるアーティストの作品を発信する「アトリエインカーブ」はなぜ誕生したのか。「観点変更」によって自らの人生と社会を変えてきたアトリエインカーブのクリエイティブディレクターが、その軌跡を語る。

日本経済新聞 2020/07/25

2020:7./ 292p

978-4-309-41758-5

本体 ¥900+税



### 香港と日本～記憶・表象・アイデンティティ～(ちくま新書 1498)

銭 俊華 著

筑摩書房

中国大陸との葛藤、2019 年のデモ、「ドラえもん」と雨傘運動、大日本帝国の記憶…。現在に至る香港の変遷を考察すると共に、香港における「日本」の表象を分析。香港出身の若手研究者による、日本人のための香港入門。

日本経済新聞 2020/07/25

2020:6./ 298p

978-4-480-07323-5

本体 ¥920+税



### エコノミック・ステイトクラフト経済安全保障の戦い

國分 俊史 著

日本経済新聞出版社

経済戦争の下では、経営者の競争相手は国家となる。競争への国家の関与や競争のルールを国家が革新するということが起こる。日本企業が認識していない経済安全保障の戦いの構図を明らかにし、新たなリスクシナリオを提示する。

日本経済新聞 2020/07/25

2020:5./ 281p

978-4-532-13500-3

本体 ¥3,700+税





**新型コロナ 19 氏の意見〜われわれはどこにいて、どこへ向かうのか〜(農文協ブックレット 21)**

農文協 編

農山漁村文化協会

ウイルスと人間の関係、日本の対応、日常の食生活と教育、パンデミック後の社会…。研究者、ジャーナリスト、医師、農家など 19 名が、新型コロナとそれがもたらした社会現象について論じる。

2020:5./ 124p

978-4-540-20137-0

本体 ¥1,000+税



日本経済新聞 2020/07/25



**上海フリータクシー〜野望と幻想を乗せて走る「新中国」の旅〜**

フランク・ラングフィット 著

白水社

チャイニーズ・ドリームと現実との狭間で生きる人びとの本音とは? アメリカ人ジャーナリストが「話してくれたら運賃タダ」という奇抜なタクシーで都市と地方を行き来し、時代の重要な転換点にある中国を見つめた野心的ルポ。

2020:5./ 335p,7p

978-4-560-09759-5

本体 ¥2,700+税



日本経済新聞 2020/07/25



**ふだん着の寺田寅彦**

池内 了 著

平凡社

あきれるほどの甘いもの好き。胃を悪くしてもやめられぬ煙草、コーヒー。子どもへの暑苦しいまでの心配癖…。寺田寅彦の背中を追ってきた宇宙物理学者が、彼の友人・家人らの回想録などをもとに、寅彦のとおきおきの姿を描く。

2020:5./ 285p

978-4-582-83841-1

本体 ¥2,500+税



日本経済新聞 2020/07/25



**時間**

エヴァ・ホフマン 著

みすず書房

人間にすべての意味を与えるのは時間である-。時間に対する万能感と人間的な時間への軽視に警鐘を鳴らし、AI の時代に人間はどう生きるべきかを問いかける。ホロコースト第2世代の作家が描く根源的かつアクチュアルな書。

2020:6./ 185p,12p

978-4-622-08909-4

本体 ¥4,000+税



日本経済新聞 2020/07/25



**幻覚剤は役に立つのか(亜紀書房翻訳ノンフィクション・シリーズ 3-10)**

マイケル・ポーラン 著

亜紀書房

不安障害、依存症、うつ病、末期ガン等への幻覚剤の医学的利用の可能性と、“変性する意識”の内的過程を探るノンフィクション。丁寧な取材で幻覚剤の歴史を紐解き、著者自らも体験することで得た知見と示唆をまとめる。

2020:5./ 535p

978-4-7505-1637-0

本体 ¥3,200+税



日本経済新聞 2020/07/25



**チャイナドレス大全〜文化・歴史・思想〜**

謝黎 著

青弓社

清朝時代の貴族の衣服が起源で、清末から民国期を経て国際都市・上海で大流行し、一世を風靡。その後、中華人民共和国の樹立、文化大革命、改革開放期へと激動した社会に伴い変化したチャイナドレスの受容の実態を描き出す。

2020:6./ 228p

978-4-7872-3470-4

本体 ¥2,400+税



日本経済新聞 2020/07/25



### 現代思想<vol.48-7> 緊急特集|感染/パンデミック

青土社

本特集では感染症とその対策をめぐる現場の最前線から、パンデミックをめぐる人類史、そして患者の隔離政策やワクチン接種などをめぐる統治、感染をめぐる表現などを追ひ、検討する。

日本経済新聞 2020/07/25

2020:4./ 270p

978-4-7917-1397-4

本体 ¥1,500+税



### アンビルトの終わり〜ザハ・ハディドと新国立競技場〜

飯島 洋一 著

青土社

建築家たちは、なぜ「アンビルト」を描くのか。資本と消費の論理が先行し、物語や理念が失われた時代に、建築の未来を語れるのか。混迷を極めた新国立競技場問題の背景を検証。「建てられざる建築」とその終わりをめぐる論考。

日本経済新聞 2020/07/25

2020:4./ 990p

978-4-7917-7265-0

本体 ¥6,200+税



### 北海道のワイナリー〜つくり手たちを訪ねて〜

阿部 さおり／阿部 眞久 著

北海道新聞社

北の大地が育むワインと、つくり手たちとの出会いを求めて。北海道内にある 40 のワイナリーを紹介するほか、ワイナリー巡りのおすすめルート、北海道のワインまめ知識なども掲載する。データ:2020 年 4 月現在。

日本経済新聞 2020/07/25

2020:5./ 159p

978-4-89453-990-7

本体 ¥1,600+税



### 悪党・ヤクザ・ナショナリスト〜近代日本の暴力政治〜(朝日選書 997)

エイコ・マルコ・シナワ 著

朝日新聞出版

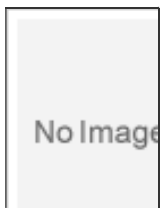
博徒、ヤクザ、暴力団…。彼らはなぜ政治と密接に結びつくことになったのか。その暴力はどのように制度化されていったのか。アメリカの気鋭の歴史学者が、暴力と民主主義が絡み合いながら共存してきた日本の近代史を描く。

毎日新聞 2020/07/04

2020:6./ 294p,79p

978-4-02-263097-1

本体 ¥1,700+税



### 万延元年のフットボール

大江健三郎 著

講談社

毎日新聞 2020/07/04

1967:9./ 393p

978-4-06-112182-9

本体 ¥1,748+税



### 見るまえに跳べ 改版(新潮文庫)

大江 健三郎 著

新潮社

毎日新聞 2020/07/04

2000:12./ 367p

978-4-10-112608-1

本体 ¥630+税







### サキの忘れ物

津村 記久子 著

新潮社

ある日、千春はアルバイト先の喫茶店で客が忘れていった一冊の本を手にする。それは千春がはじめて読み通した本となり…。たやすくはない日々宿る僥倖のような、まなざしあたたかな短篇 9 編を収録。『文藝』ほか掲載を書籍化。

2020:6./ 216p

978-4-10-331982-5

本体 ¥1,400+税



毎日新聞 2020/07/04



### 昨日壊れはじめた世界で

香月 夕花 著

新潮社

小学校時代に、世界の終わりを予言する不思議な男と出会ったことを思い出した大介。30 年前の記憶をたどりながら男を探し…。「ひび割れた世界」に生きる人々のかすかな希望を描く連作短編集。『小説新潮』掲載を改題。

2020:5./ 270p

978-4-10-353331-3

本体 ¥1,750+税



毎日新聞 2020/07/04



### ほのぼの路線バスの旅(中公文庫 た 24-3)

田中 小実昌 著

中央公論新社

いい景色、いい町、いい飲屋、そしてたくさんの人。東海道を西へ、もっと西へ西へ。路線バスの旅はうれしい。思い出をつむぎながらゆくコミさんのノスタルジック・ジャーニー。戌井昭人による巻末エッセイも収録。

2020:4./ 264p

978-4-12-206870-4

本体 ¥860+税



毎日新聞 2020/07/04



### 絵本の春

泉 鏡花 著

朝日出版社

逢魔が刻に顕界と異界が混じりあう…。流れるような言葉の美しさと夢幻的な雰囲気。時代を超え、遠い憧憬を呼びさます泉鏡花の短篇「絵本の春」に、金井田英津子が絵を添える。

2020:6./ 1 冊(ページ

付なし)

978-4-255-01186-8

本体 ¥2,100+税



毎日新聞 2020/07/04



### 洪水と水害をとらえなおす～自然観の転換と川との共生～

大熊 孝 著

農文協プロダクション

人は自然と切れて存在することはできない。日本人の伝統的な自然観に迫りつつ、今日頻発する水害の実態と今後の治水のあり方を論じ、ローカルな自然に根ざした自然観の再生と川との共生を展望する。大熊河川工学集大成の書。

2020:5./ 281p

978-4-540-20139-4

本体 ¥2,700+税



毎日新聞 2020/07/04



### 平安貴族(平凡社ライブラリー 901)

橋本 義彦 著

平凡社

源氏物語の舞台ともなった貴族の世界。生活・政治のあり方、太政大臣・女院・里内裏の変遷など、その実態を解明。歴史的事実をさまざまな史料から読み解く、貴族社会の歴史を論ずるに避けては通れない古典的名著。

2020:5./ 309p

978-4-582-76901-2

本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2020/07/04



### インサイドアウトサイド

アンヌ=マルゴ・ラムシュタイン、マティアス・アレギ 著

ほるぷ出版

卵のなかとそと、見張りが立つ城のなかとそと、アリクイが舌を伸ばすアリの巣のなかとそとを、うらがえしにして見てみたら？ 文字はないけど、発見がある。フランス人アーティストによる想像力を刺激する絵本。

2018:10./ 48p

978-4-593-10008-8

本体 ¥2,850+税



毎日新聞 2020/07/04



### ドイツ人の村〜シラー兄弟の日記〜(叢書《エル・アトラス》)

ブアレム・サンサール 著

水声社

前途有望な兄ラシェルの突然の自殺。弟のマルリクは、遺品として兄の日記を手渡される。兄の心境と自殺の動機、ナチスに加担した過去をもつ父親…。人がもつ孤独の闇と、それでもなお人を信頼する希望の光を、重層的に物語る。

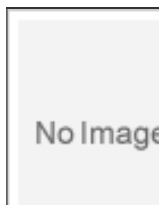
2020:4./ 347p

978-4-8010-0245-6

本体 ¥3,000+税



毎日新聞 2020/07/04



### 詳註版 カラマーゾフの兄弟

ドストエフスキー 著

水声社

毎日新聞 2020/07/04

2020:2./ 1384p

978-4-8010-0400-9

本体 ¥18,000+税



### かしくて勇氣ある子ども(torch comics)

リイド社

第一子を妊娠し、生まれてくる我が子へ期待を膨らませる夫婦。二人は、賢くて勇氣ある子に育てば、明るい未来が訪れると信じていた。これから生まれてくる子供に、私たちは何を伝えればいいのだろうかー

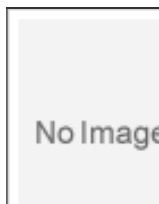
2020:6./ 167p

978-4-8458-6061-6

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2020/07/04



### 終わりにきくくさ 沖縄戦を心に刻む

藤原 健 著

琉球新報社

毎日新聞 2020/07/04

2020:6.

978-4-89742-260-2

本体 ¥2,000+税



### 昭和の名騎手

江面 弘也 著

三賢社

天才、名人、闘将、鉄人、剛腕、名手…。昭和競馬は、騎手と馬が対になって甦る。福永洋一、武邦彦、加賀武見、増沢末夫、郷原洋行、岡部幸雄ら、往年の名騎手 30 人の騎手人生を追う。

2020:4./ 259p

978-4-908655-16-6

本体 ¥980+税



毎日新聞 2020/07/04



### 政治改革再考～変貌を遂げた国家の軌跡～(新潮選書)

待鳥 聡史 著  
新潮社

選挙制度、行政、日銀・大蔵省、司法制度、地方分権…。1990 年代以降、日本の統治システムは改革の名のもと、静かに、しかし激しく変貌を遂げてきた。現在の政治を作り出した壮大な理念とその帰結を読み解く。

2020:5./ 314p,5p  
978-4-10-603854-9  
本体 ¥1,400+税



毎日新聞 2020/07/04、読売新聞 2020/07/12、日本経済新聞 2020/07/25



### 晴れ、時々くらげを呼ぶ

鯨井 あめ 著  
講談社

父を亡くしたあと、他者と関わりを持たず、毎日をこなすように生きてきた僕。ある日僕は、屋上で「くらげ乞い」をする奇妙な後輩と出会い…。世界をちょっとだけ変えたかった、「僕」と「彼女」と「僕たち」の物語。

2020:6./ 268p  
978-4-06-519474-4  
本体 ¥1,300+税



毎日新聞 2020/07/05



### 松苗あけみの少女まんが道(BUNKASHA COMIC ESSAY)

松苗 あけみ 著  
ぶんか社

憧れの作家のアシスタントに。描けなくて缶ヅメ状態の日々…。少女まんがの黄金期を駆け抜けた松苗あけみによる自伝的コミックエッセイ。名作誕生秘話を初告白する。『本当にあった笑える話』連載に描きおろしを加え単行本化。

2020:6./ 126p  
978-4-8211-4553-9  
本体 ¥1,000+税



毎日新聞 2020/07/05



### ルイ・ボナパルトのブリュメール 18 日(講談社学術文庫 2569)

カール・マルクス 著  
講談社

ナポレオンの甥は、いかにして皇帝への道を歩んだのか? 1848 年の革命から 3 年後のクーデターで国民の圧倒的な支持を得るまでの過程を、ジャーナリストとしてのマルクスが徹底的に分析する。

2020:4./ 185p  
978-4-06-519346-4  
本体 ¥840+税



毎日新聞 2020/07/11



### 焼け跡の高校教師(集英社文庫 お 86-1)

大城 立裕 著  
集英社

戦後占領下の沖縄。日本の影響を受けないここで、国語ではなく「文学」を教えたいと考えた高校教師は…。物はなくても、開放感に満ち溢れた時代の少年少女と教師を描いた自伝的小説。『web 集英社文庫』掲載を加筆し文庫化。

2020:5./ 190p  
978-4-08-744118-5  
本体 ¥500+税



毎日新聞 2020/07/11



### 赤頭巾ちゃん気をつけて(新潮文庫 し-73-1)

庄司 薫 著  
新潮社

学生運動の煽りで入試が中止という災難に見舞われた高校 3 年の薫。愛犬が死に、幼馴染の由美と絶交し、踏んだり蹴つたりの 1 日がスタートするが…。青年の目で現代日本に通底する価値観の揺らぎを直視した 60 年代の青春小説。

2012:3./ 198p  
978-4-10-138531-0  
本体 ¥460+税



毎日新聞 2020/07/11



## 庭

小山田 浩子 著  
新潮社

ままならない日々を生きる人間のすぐそばで、虫や草花や動物たちが織り成す、息をのむような不思議な世界。風景が静かに決定的に姿を変える瞬間を克明に描き出す、15の物語を収録する。

2018:3./ 235p  
978-4-10-333643-3  
本体 ¥1,700+税



毎日新聞 2020/07/11



## 組曲わすれこうじ

黒田 夏子 著  
新潮社

節句のひながた、ミニチュアの動物や椅子、骰子、黒い円盤…。幼年の心に刻まれた、愛おしいものたちの記憶。長い歳月をかけて織りあげた、芥川賞受賞後初の小説集。『新潮』掲載を中心に単行本化。

2020:5./ 197p  
978-4-10-353311-5  
本体 ¥1,900+税



毎日新聞 2020/07/11



## お母さんの工夫～モンテッソーリ教育を手がかりとして～(文春文庫 さ46-3)

相良 敦子／田中 昌子 著  
文藝春秋

医学にもとづく確かなメソッド、モンテッソーリ教育で、ぐんと子育てが楽しくなります。わが子の見方・たすけ方、幼児期に学びたい言語・算数など、お母さんが家庭でできる手作り教育を紹介します。巻頭写真等を追加し文庫化。

2020:6./ 253p  
978-4-16-791517-9  
本体 ¥720+税



毎日新聞 2020/07/11



## レオナルド・ダ・ヴィンチ～よみがえる天才 2～(ちくまプリマー新書 350)

池上 英洋 著  
筑摩書房

500年も前に生きたその人は名画を遺し、近代文明の夢を描いた「万能人」と呼ばれる。しかしその素顔は、不遇と失敗に苦しんだ青年だった。「万能の天才」のイメージに隠れたダ・ヴィンチの実像を追う。カラー図版多数収録。

2020:5./ 247p 図版16p  
978-4-480-68377-9  
本体 ¥980+税



毎日新聞 2020/07/11



## アンネの日記～グラフィック版～

アリ・フォルマン 編  
アンネ・フランク 著

あすなろ書房

自由をうばわれ、25カ月ものあいだ秘密の隠れ家で暮らしたアンネ・フランク。閉ざされた空間で、13歳の少女は何を思ったのか？ アンネの文章を忠実に表現したグラフィック版。

2020:5./ 145p  
978-4-7515-2963-8  
本体 ¥2,000+税



毎日新聞 2020/07/11



## 教養として学んでおきたい能・狂言(マイナビ新書)

葛西 聖司 著  
マイナビ出版

難しそう、敷居が高いと思われがちな能や狂言へ誘う。著者が大好きな物語の絵解き、著者ならではの能や狂言の楽しみ方を中心に紹介する。能楽堂に入るところから、ドラマチックな歴史物語、おすすめの能楽などを綴る。

2020:4./ 223p  
978-4-8399-7151-9  
本体 ¥870+税



毎日新聞 2020/07/11





### チキュウニウマレテキタ

小西貴士 著

風鳴舎

20 年間、森と子どもたちをつなぎ、ていねいに撮り続けてきた森の案内人であり写真家である著者による、新しい時代へつなぐ子ども賛歌。新たな共生の時代を考えるにあたってのベースを未来の地球に想いを馳せる写真で示す。

2020:4./ 1 冊(ページ付なし)

978-4-907537-19-7

本体 ¥2,200+税



毎日新聞 2020/07/11



### めんどくさい本屋〜100 年先まで続ける道〜(ミライのパスポ)

竹田 信弥 著

本の種出版

どんな手段を使っても、ぼくは 100 年先まで自分の本屋を生き残らせる…。東京・赤坂の選書専門書店『双子のライオン堂』のたいそうめんどくさい店主が本と本屋の未来を描く。

2020:4./ 241p

978-4-907582-21-0

本体 ¥1,700+税



毎日新聞 2020/07/11



### 理由のない場所

イーユン・リー 著

河出書房新社

今日も明日も、一週間後も一年後も、永遠に悲しい。あなたと話すために、この場所をつくることにした。16 歳の息子が自殺した。母親は、もう存在しない子供との対話を続け…。底なしの喪失感を実体験に基づいて描く。

2020:5./ 212p

978-4-309-20796-4

本体 ¥2,200+税



毎日新聞 2020/07/11、朝日新聞 2020/07/18、東京・中日新聞 2020/07/26



### アロハで猟師、はじめました

近藤 康太郎 著

河出書房新社

獣害に苦む近隣農家に乞われ始めた猟師生活。そこには、この社会から“ばっくれて生きる”ための知恵が詰まっていた! これからの「世界」と「生きること」を考えた七転八倒のドキュメント。『朝日新聞』連載を元に書籍化。

2020:5./ 236p

978-4-309-02887-3

本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2020/07/11、朝日新聞 2020/07/25



### 評伝一龍齋貞水〜講談人生六十余年〜

塩崎 淳一郎 著

岩波書店

怪談をはじめ多彩なジャンルの講談を演じ、その至芸は現代講談界の最高峰として位置づけられる人間国宝・一龍齋貞水。長年にわたるインタビューと綿密な取材をもとに、貞水の半生をつぶさに綴る。講談年表も収録。

2020:6./ 12p,157p,4p

978-4-00-061407-8

本体 ¥2,000+税



毎日新聞 2020/07/18



### 明子のピアノ〜被爆をこえて奏で継ぐ〜(岩波ブックレット No.1028)

中村 真人 著

岩波書店

19 歳で広島原爆に命を奪われた河本明子さん。愛奏していたピアノはその響きを取り戻し、「音楽で平和を」の輪を世界に広げ…。原爆の記憶を伝え、未来につなげる物語。

2020:7./ 71p

978-4-00-271028-0

本体 ¥680+税



毎日新聞 2020/07/18



**本の世界をめぐる冒険(教養・文化シリーズ NHK 出版学びのきほん)**

ナカムラ クニオ 著

NHK出版

本はどのように誕生し、どう発展してきたのか。世界の知られざる本の歴史、読書にまつわる環境、本の未来など、現代で本に関わるために知っておくべき「きほん」をまとめる。

2020:6./ 102p

978-4-14-407258-1

本体 ¥670+税



毎日新聞 2020/07/18



**賢者たちの街**

エイモア・トールズ 著

早川書房

1937 年の大晦日。25 歳のケイティはジャズバーで若き銀行家ティンカー・グレイと出会う。偶然の出会いが、つましく暮らしていた読書好きのケイティを、ニューヨークの上流社会の旅に導くことになる…。

2020:6./ 484p

978-4-15-209939-6

本体 ¥3,300+税



毎日新聞 2020/07/18



**ポップス大作戦**

武田 花 著

文藝春秋

この世に氾濫する色という色が、目に飛び込んでくる。モノクロ写真ばかり撮っていた私にとっては一大事。大作戦が始まったのだ。ポップな色彩はじけるフォト&エッセイ集。『別冊文藝春秋』連載を単行本化。

2020:6./ 109p

978-4-16-391220-2

本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2020/07/18



**情報の呼吸法(idea ink 01)**

津田 大介 著

朝日出版社

ツイッターの第一人者・津田大介がフォロワーの増やし方から、信憑性のはかり方、アイデアを生む「連想ゲーム術」までを紹介。情報というガソリンを取り込んで、人を巻き込み、変化を引き起こすための行動型情報入門。

2012:1./ 165p

978-4-255-00621-5

本体 ¥940+税



毎日新聞 2020/07/18



**丁庄の夢 新装版**

閻 連科 著

河出書房新社

1990 年代の中国河南省、政府の売血政策で 100 万人とも言われる HIV 感染者を出した貧農の「エイズ村」を舞台に繰り広げられる、死と狂気と絶望と哄笑の物語。エッセイを追加した新装版。

2020:6./ 309p

978-4-309-20801-5

本体 ¥3,200+税



毎日新聞 2020/07/18



**アーティスティックスポーツ研究序説～フィギュアスケートを基軸とした創造と享受の文化論～**

町田 樹 著

白水社

フィギュアスケートや新体操などに象徴される「アーティスティックスポーツ」という身体運動文化を、経営・経済学、法学、社会学、芸術学などを横断して探究する。

2020:6./ 413p

978-4-560-09765-6

本体 ¥5,000+税



毎日新聞 2020/07/18

**無情(ムジョン)(平凡社ライブラリー 904)**

李光洙 著

平凡社

日本への留学を果たした前途有望な英語教師ヒョンシク。裕福な両班の娘の個人教授で浮き立つ彼の前に、妓生となった恩師の娘ヨンチェが現れ…。日本統治下の社会を描き、旧世界への危機感を喚起した近代長編小説。

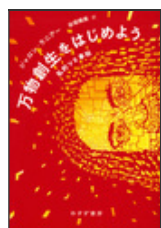
2020:6./ 477p

978-4-582-76904-3

本体 ¥1,800+税



毎日新聞 2020/07/18

**万物創生をはじめよう〜私的 VR 事始〜**

ジャロン・ラニア 著

みすず書房

VR は人間の主観に軸足を置くテクノロジー。第 1 次 VR ブームの立役者が、VR の来歴と次世代への展望、人間と VR の関係の本質、先駆者ならではの思索、80 年代?90 年代初頭のシリコンバレーの情景などを書き尽くす。

2020:6./

4p,424p,50,6p

978-4-622-08907-0

本体 ¥3,600+税



毎日新聞 2020/07/18

**論点・西洋史学**

小野沢 透／藤井 崇／青谷 秀紀／古谷 大輔／坂本 優一郎 編

ミネルヴァ書房

西洋の過去に関する 139 の論点を最新の研究動向に照らし、史実とともにコンパクトに解説したテキスト。歴史学的に考察するポイント、語句説明、クロスリファレンスも掲載する。

2020:4./ 11p,321p

978-4-623-08779-2

本体 ¥3,200+税



毎日新聞 2020/07/18

**井上洋治著作選集<2> 余白の旅 思索のあと**

井上 洋治 著

日本キリスト教団出版局

日本人の心に届くようイエスの教えを伝えるため模索し続けた、カトリック司祭・井上洋治。処女作「日本とイエスの顔」ができるまでの背後にある出来事や思索について綴った精神的自叙伝「余白の旅 思索のあと」等を収録。

2015:9./ 240p

978-4-8184-0912-5

本体 ¥2,500+税



毎日新聞 2020/07/18

**仮往生伝試文(講談社文芸文庫 ふ A8)**

古井 由吉 著

講談社

平安の極楽往生譚を生きた古人の日常から、中山競馬場へ、人間の営みは時空の切れ目なくつながっていく。今昔の死と生を往還し、虚と実、夢と現を果てしなく越境して文学の無限の可能性を尽くした戦後文学の金字塔。

2015:7./ 505p

978-4-06-290278-6

本体 ¥2,000+税



毎日新聞 2020/07/25

**2020 年 6 月 30 日にまたここで会おう〜瀧本哲史伝説の東大講義〜(星海社新書 160)**

瀧本 哲史 著

星海社

君たちは自分の力で、世の中を変えていけ! 2019 年に病のため夭逝した瀧本哲史。ずっと若者世代である「君たち」に向けてメッセージを送り続けてきた彼の思想を凝縮した「伝説の東大講義」を一冊にまとめる。

2020:4./ 219p

978-4-06-519428-7

本体 ¥980+税



毎日新聞 2020/07/25



### テレビの荒野を歩いた人たち

ペリー 萩野 著

新潮社

1953 年、本放送スタート。その瞬間から正解のない挑戦が始まった! 未知のニューメディア「テレビ」と格闘し、ドラマ、スポーツ、バラエティ、CM の道を切り拓いた 12 人のインタビューで伝説の裏側を明かす。

2020:6./ 270p

978-4-10-339422-8

本体 ¥1,600+税



毎日新聞 2020/07/25



### KGBの男〜冷戦史上最大の二重スパイ〜

ベン・マッキンタイアー 著

中央公論新社

核戦争を回避させた老スパイは現在、英国で 24 時間警護を受けながら、名前も身分も偽り、孤独な生活を送っている。本人のインタビューと MI6 で工作に関わった面々の証言から、大胆にして危険極まりない諜報半生を辿る。

2020:6./ 492p

978-4-12-005310-8

本体 ¥2,900+税



毎日新聞 2020/07/25



### 肉とすっぽん〜日本ソウルミート紀行〜

平松 洋子 著

文藝春秋

うまい肉が生まれる現場にはソウルがある! 害獣を地域の恵みに変えた島根県美郷町モデル、馬肉文化を守り抜いた熊本の挑戦...それぞれの土地で培われた「知恵と技」を紹介。“食の未来図”をまるごと味わうノンフィクション。

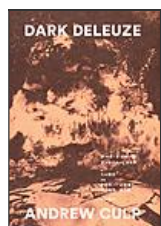
2020:7./ 266p

978-4-16-391223-3

本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2020/07/25



### ダーク・ドゥルーズ

アンドリュー・カルプ、大山 載吉 著

河出書房新社

ドゥルーズは喜びと肯定の哲学ではなく憎しみと破壊の哲学だ。暗黒のドゥルーズを召喚して世界の破壊を共謀する最も危険な哲学の誕生。日本のドゥルーズジャン 4 人による応答も併載。

2016:11./ 229p

978-4-309-24782-3

本体 ¥2,400+税



毎日新聞 2020/07/25



### 子育てベスト 100〜「最先端の新常識×子どもに一番大事なこと」が 1 冊で全部丸わかり〜

加藤 紀子 著

ダイヤモンド社

膨大なリサーチでわかった「一番子どものためになること」ベスト 100 とは? 子どもに身につけてほしい「コミュニケーション力」「思考力」などのテーマ別に、親やまわりにいる大人は何をすればいいかを具体的に紹介する。

2020:6./ 343p

978-4-478-10791-1

本体 ¥1,500+税



毎日新聞 2020/07/25



### 外交官の文章〜もう一つの近代日本比較文化史〜

芳賀 徹 著

筑摩書房

攘夷・開国から日清・日露の戦役を経て開戦まで。久米邦武、陸奥宗光、小村寿太郎、吉田茂など、国運を一身に背負い、「言葉による戦争」を最前線で担った人々の記録と回想を読み解く。『外交フォーラム』連載を元に単行本化。

2020:6./ 433p,8p

978-4-480-86119-1

本体 ¥3,200+税



毎日新聞 2020/07/25





### ピジン・クレオール諸語の世界～ことばとことばが出合うとき～

西江 雅之 著  
白水社

異なる言語の出合いをとおして人間の言語とは何かを考える。日本におけるピジン・クレオール語研究の先駆的存在であった著者が、ピジン・クレオール諸語をめぐって残した論考の中で中心的な2つの連載を収めたもの。

2020:6./ 263p  
978-4-560-08874-6  
本体 ¥2,500+税

毎日新聞 2020/07/25



### フィンランド人はなぜ「学校教育」だけで英語が話せるのか

米崎 里 著  
亜紀書房

多くの人々がふつうに英語を話すフィンランド。どんな授業、どんな教科書でそれが可能になるのか。フィンランド独自の英語教育の秘密を解き明かすとともに、日本の英語教育のあり方を問う。

2020:3./ 230p  
978-4-7505-1633-2  
本体 ¥1,800+税

毎日新聞 2020/07/25



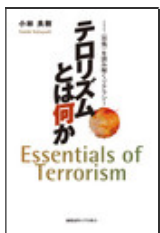
### わたしはフリーダ・カーロ～絵でたどるその人生～

マリア・ヘッセ 著  
花伝社

生まれ持った障がい、2度の事故、ディエゴ・リベラとの結婚、流産、トロツキーとの恋…。苦難に立ち向かいながら数々の傑作を残した画家フリーダ・カーロ。その生涯を、作品と日記をもとに美しいイラストで綴る。

2020:6./ 150p  
978-4-7634-0926-3  
本体 ¥1,800+税

毎日新聞 2020/07/25



### テロリズムとは何か～<恐怖>を読み解くリテラシー～

小林 良樹 著  
慶應義塾大学出版会

終わることのないテロの問題。「テロ」とは果たして何なのか。テロの歴史や特徴、テロ発生のメカニズム、未然防止するための諸施策、近年のテロの情勢など、理論と実際の両面からテロ問題の全体像の本質を鋭く描く。

2020:6./ 19p,325p  
978-4-7664-2680-9  
本体 ¥2,700+税

毎日新聞 2020/07/25



### 犬の毛布～橋本石火句集～

橋本石火 著  
ふらんす堂

ふぐりまで風を通して夕端居 干布団犬の毛布がその横に 自然のありのままの姿、生活のありのままの姿に、少しの余情を漂わせた、自然随順の句の数々。『ハンザキ』創刊後の作品を中心に構成した第3句集。

2020:7./ 195p  
978-4-7814-1290-0  
本体 ¥2,500+税

毎日新聞 2020/07/27